

○看護学科

・実施状況

2015 年度 4 月 13 日実施 回答者数 94 名 回答率 98.9% (回答者 94/在籍者 95)
2016 年度 4 月 14 日実施 回答者数 95 名 回答率 99.0% (回答者 95/在籍者 96)
2017 年度 4 月 13 日実施 回答者数 95 名 回答率 100%
2018 年度 4 月 9 日実施 回答者数 93 名 回答率 98.9% (回答者 93/在籍者 94)
2019 年度 4 月 8 日実施 回答者数 90 名 回答率 97.8% (回答者 90 名/新入生 94 名)

・実施方法

新入生オリエンテーションの時間に、教育 IR 員が教室に出向き、調査内容を説明して学生から同意を得た後に、質問紙調査を実施した。

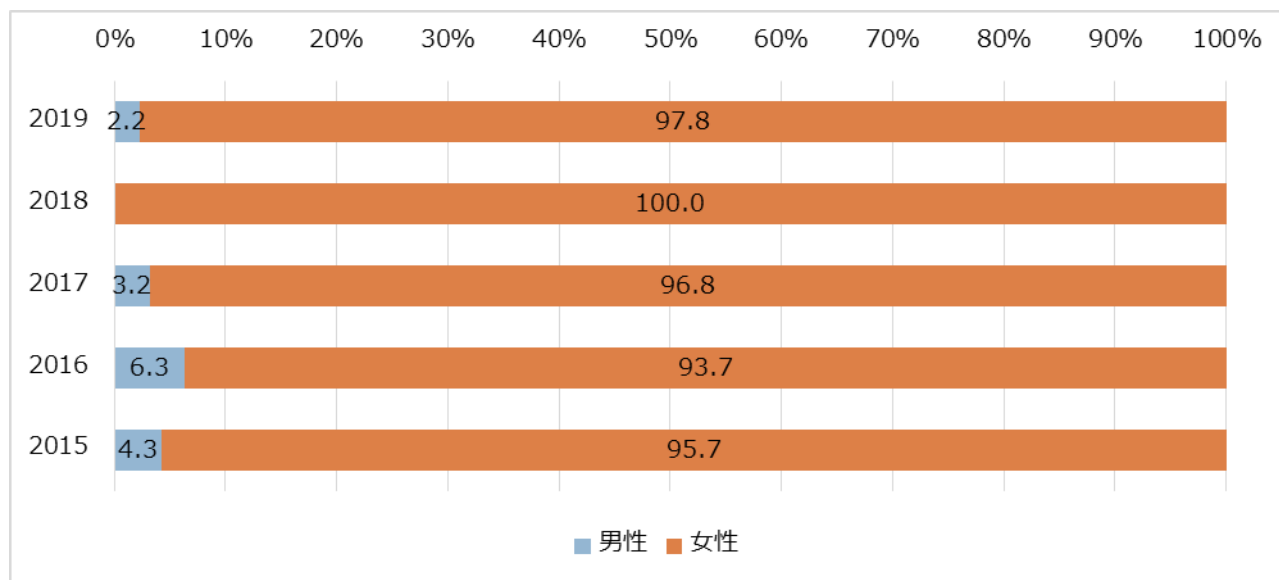
・結果のとりまとめ方法

原則、5 年分の結果をそのまま示した。ただし、項目の改廃や文言の修正のため、年度によって質問項目や内容が異なるか箇所が生じている。内容が大幅に異なっている項目については、比較を実施しなかった。修正が軽微な部分については、その旨を注意書きしたうえで、当該年分の結果を示した。

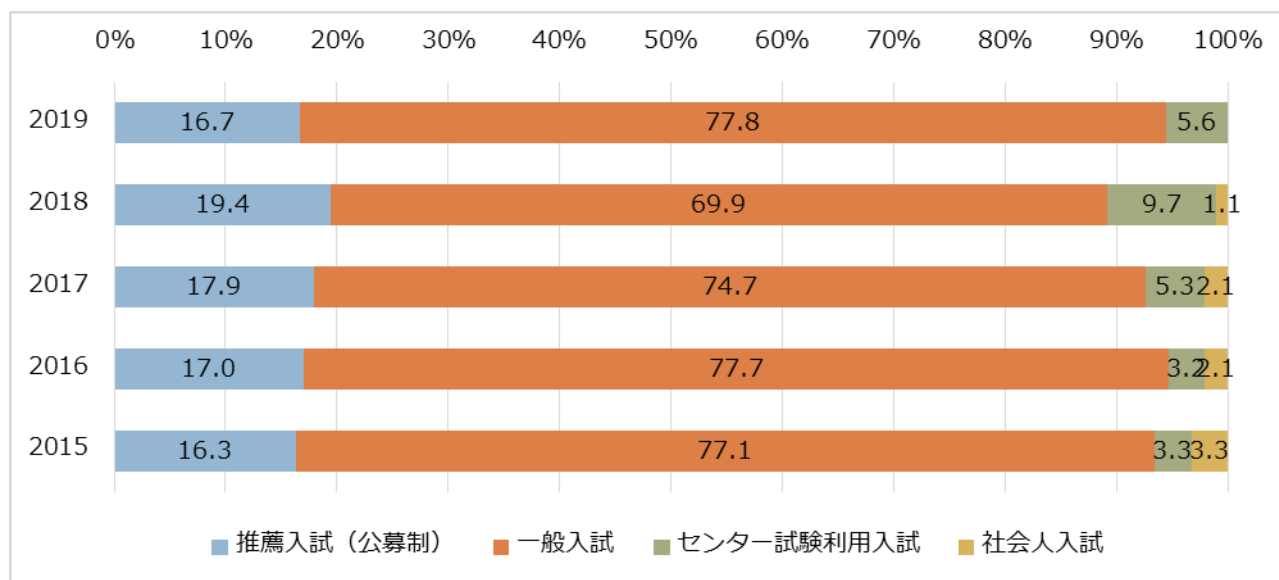
「その他」の記載内容など、個人の特定につながる記載内容については、取りまとめを実施しなかった。同様に、教育とは直接関係しない、広報等に関わる質問項目についても、取りまとめを実施していない。

無記入が含まれるため、各項目の合計人数は、回答者数の計に一致しない場合がある。

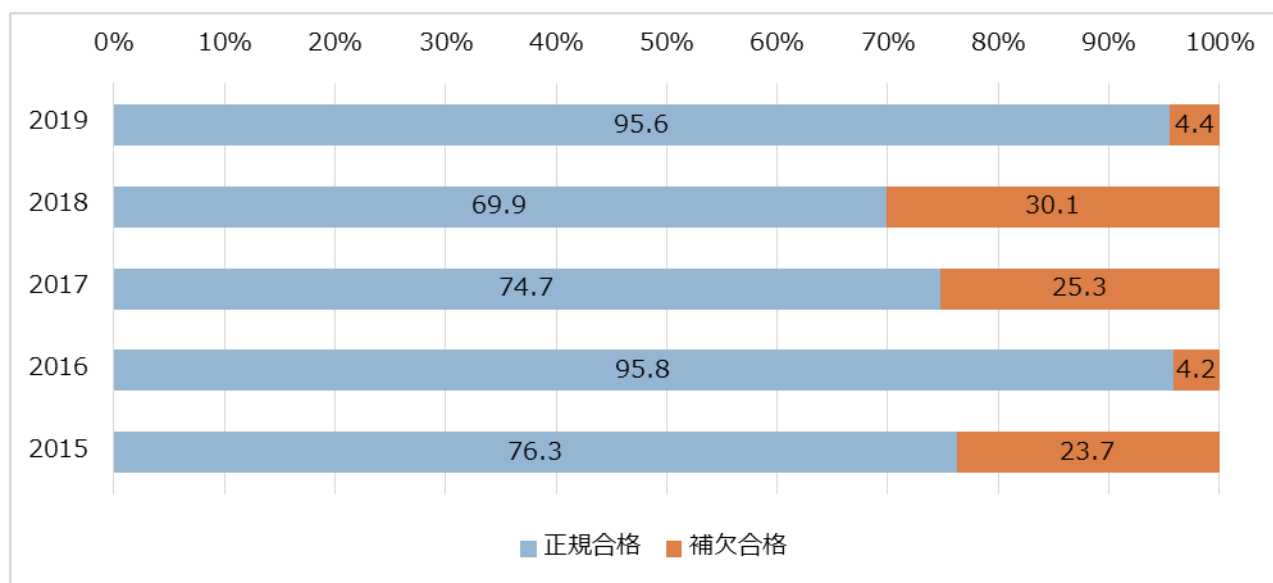
問1 性別



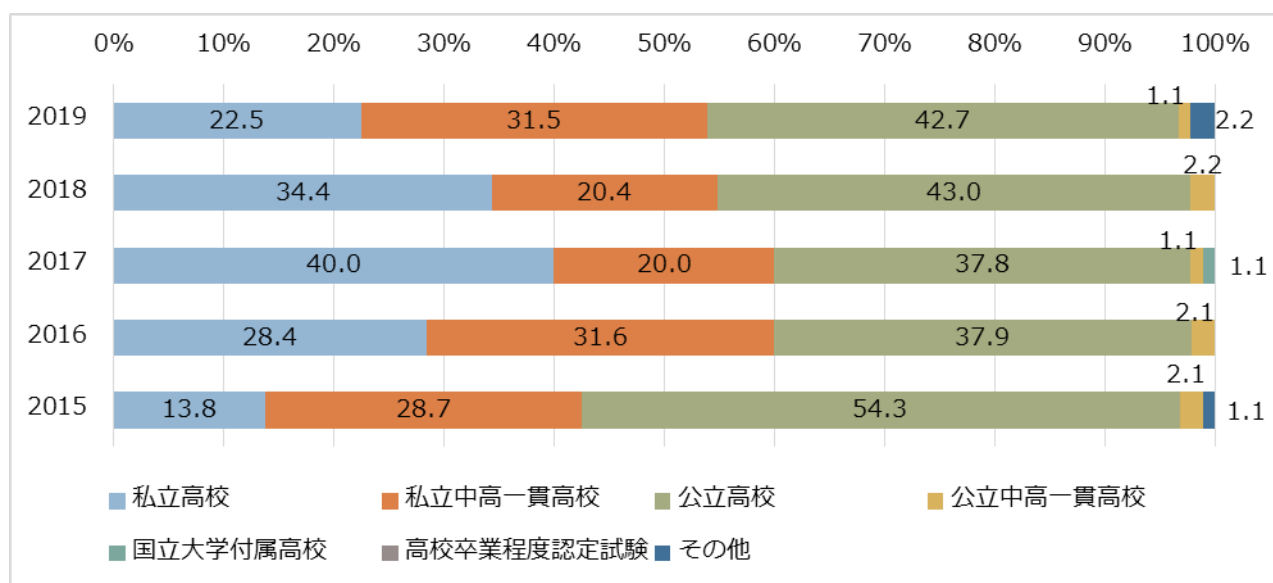
問2 入試は次のいずれですか。



問3 合格は正規合格ですか。



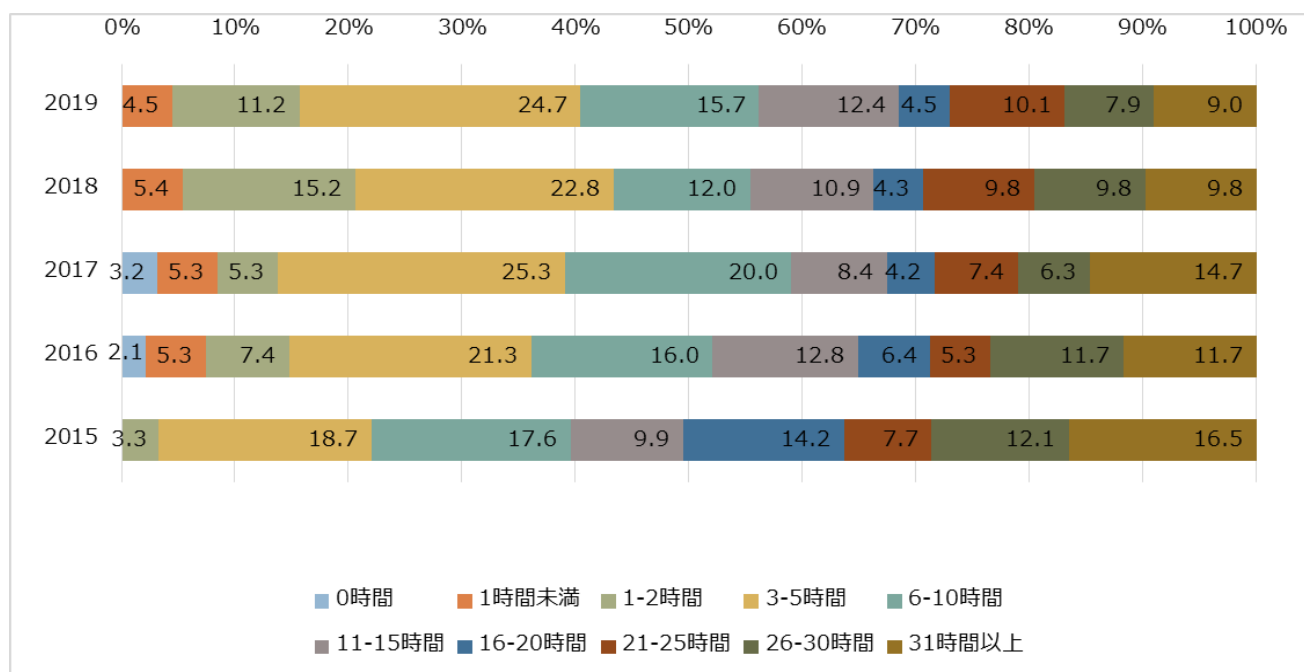
問4 出身高校は



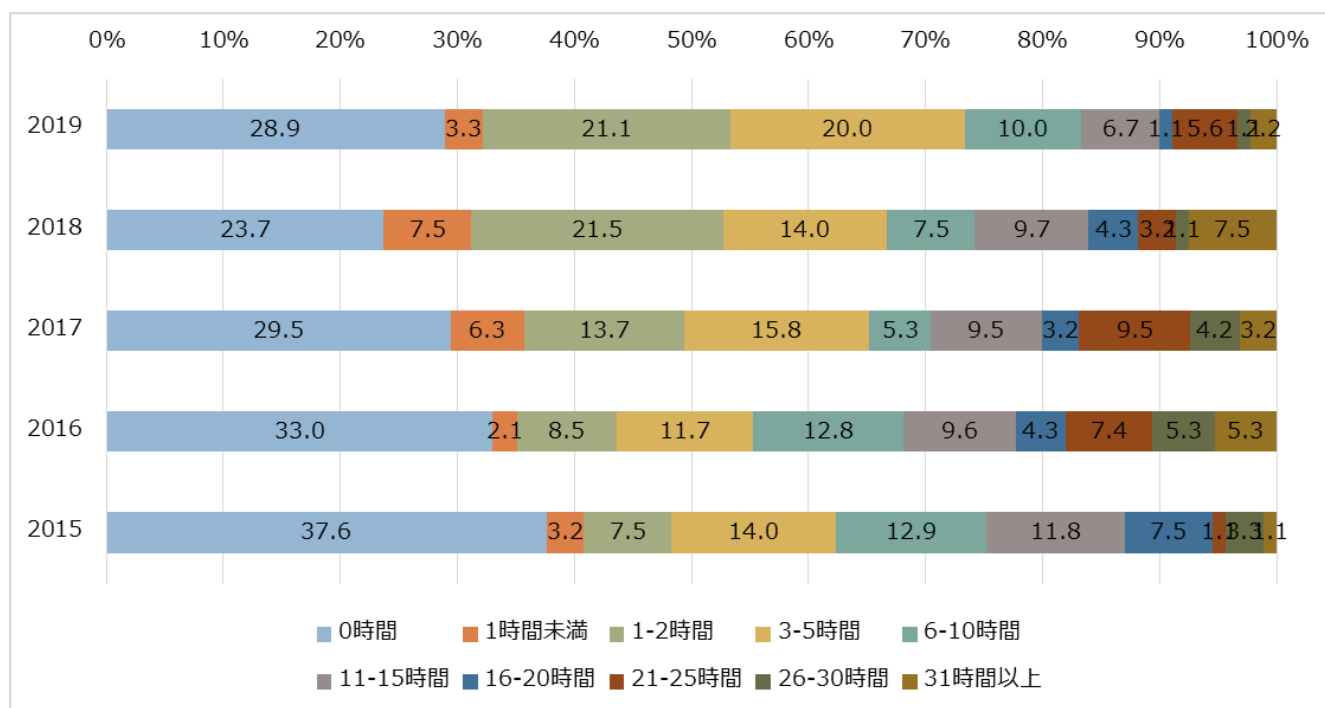
問 5 あなたは、高校3年生の授業が行われていた学期（1 学期もしくは前期）中、次の活動に 1 週間あたり平均どれくらいの時間を費やしましたか。あてはまる番号にそれぞれ 1 つ○をつけてください。

高 3 で費やした活動を問う項目である。2019 年度は、2018 年度と比べて、3「アルバイト」と 8「ボランティア活動」を行わなかった者の割合が増えた。その他の項目では、さほど大きな年度による差異は見られない。

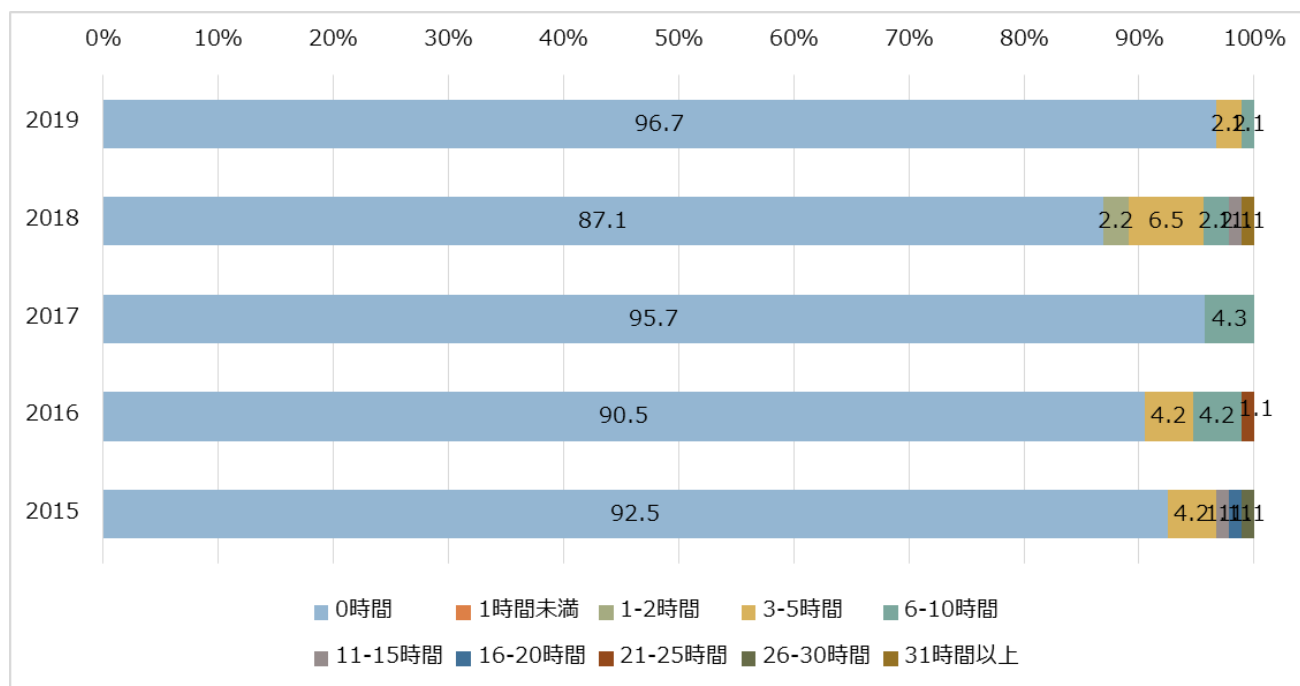
1. 授業以外の学習



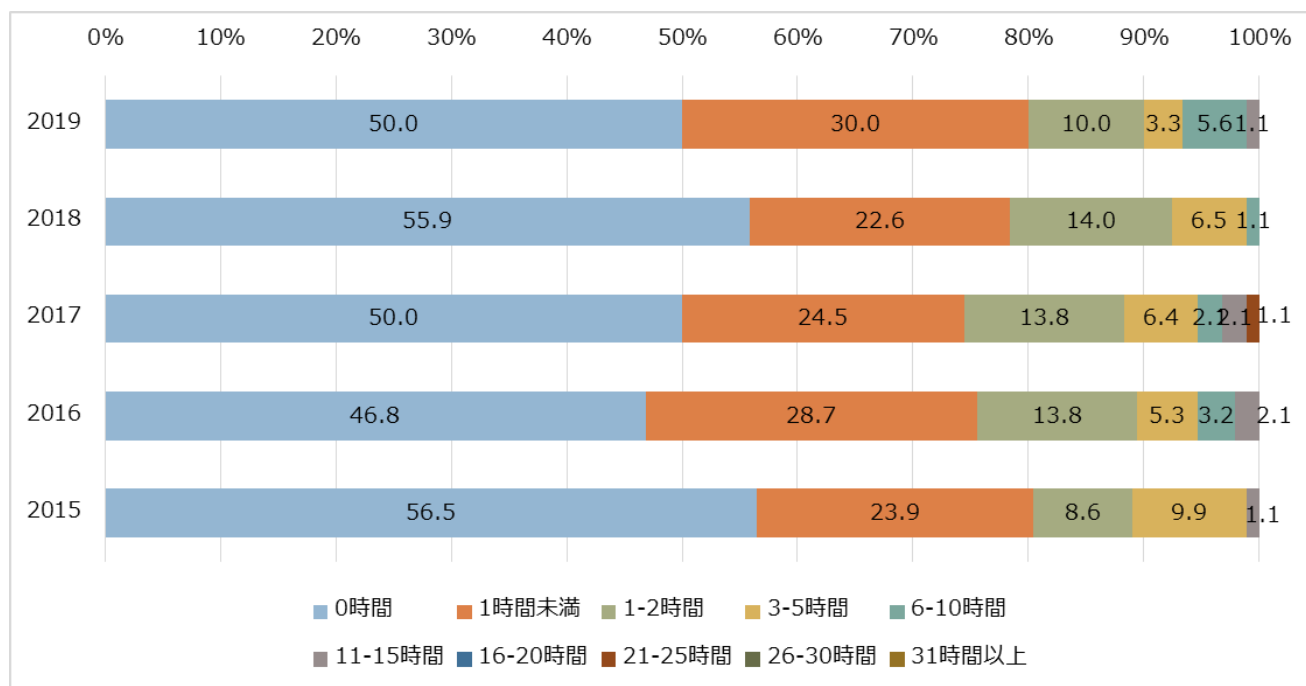
2. 学校内のクラブ・サークル活動



3. アルバイト



4. 読書（マンガ・雑誌を除く）

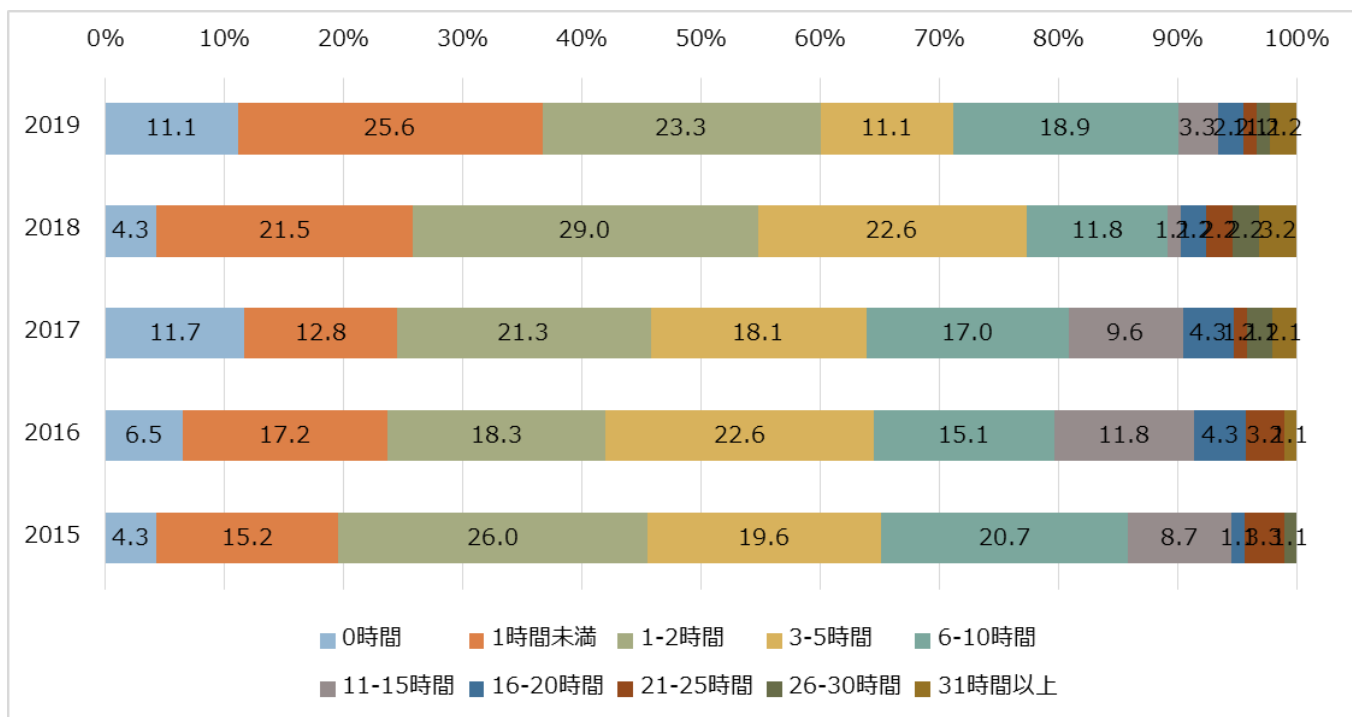


5. 個人的な趣味活動

(テレビ、映画鑑賞、ゲームなど) (2017年度以降)

(テレビ、映画鑑賞、運動など) (2015、16年度)

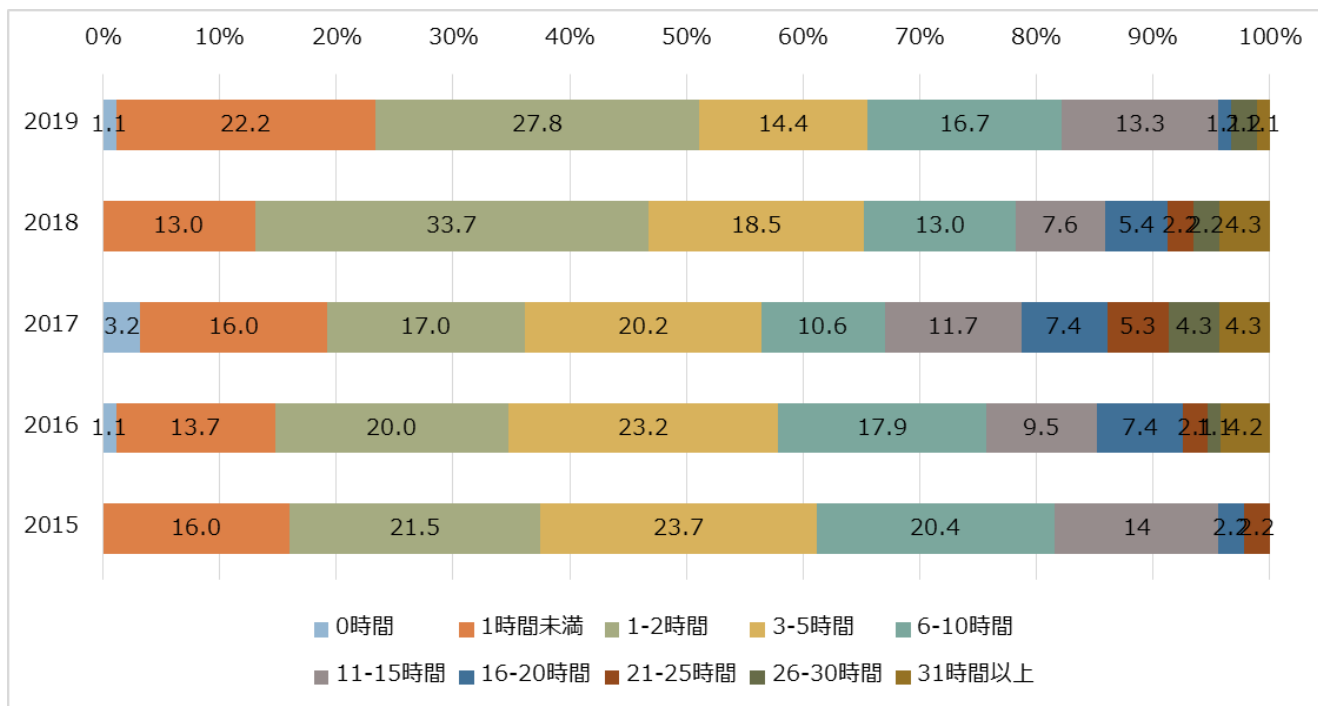
個人的な趣味活動の内容を説明する括弧書きの中に、2015と16年度は「運動」が、2017年度以降は、「ゲーム」が記載されていた。



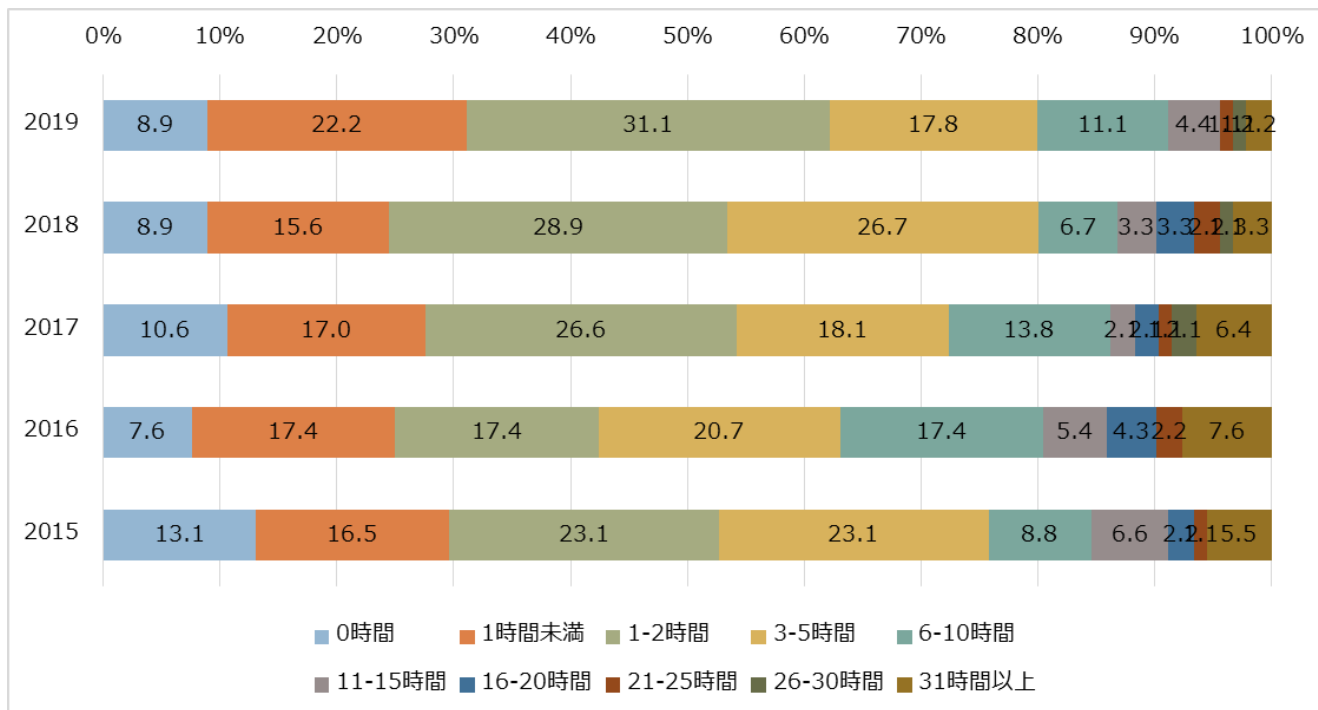
6. スマートフォン・携帯電話の利用（2017年度以降）

パソコン・スマートフォン・携帯電話の利用（2015、16年度）

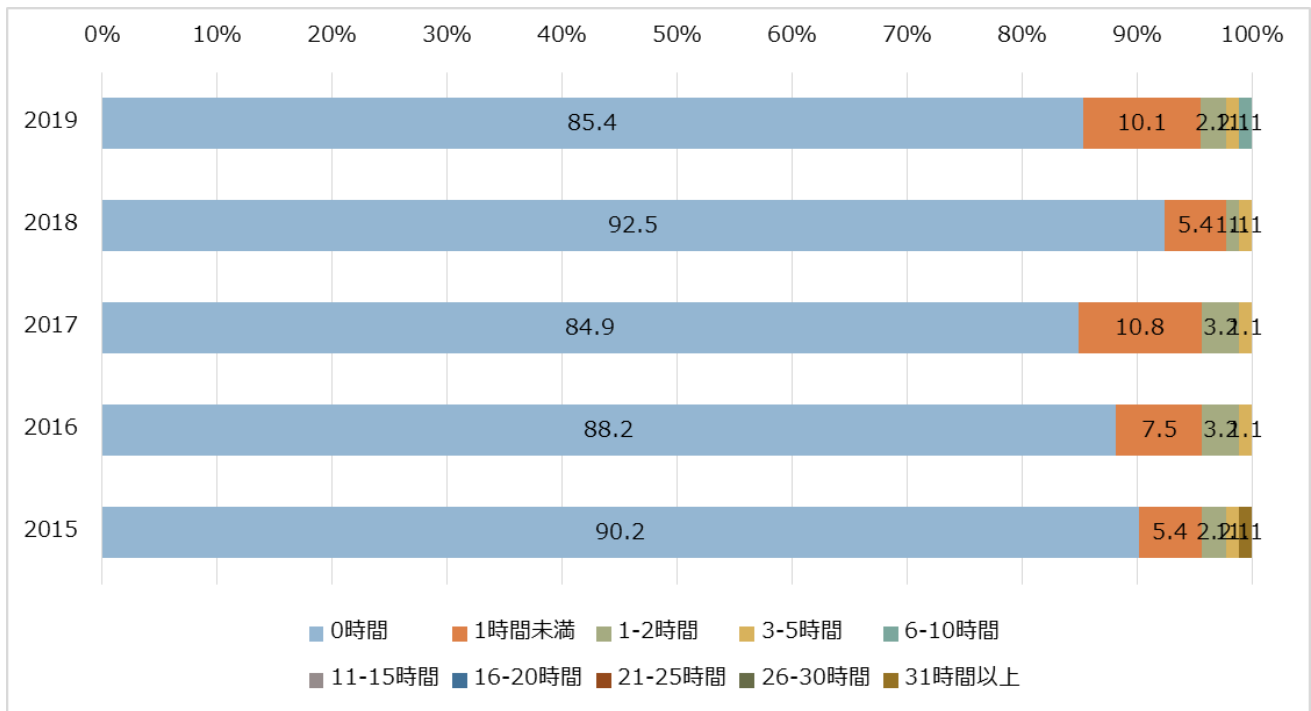
2016年度までは「パソコン」を含む電子機器の扱い時間を問う項目であったが、2017年度から「パソコン」の記載は無くなり、モバイルコミュニケーションツールの扱い時間を問う項目となった。



7. 友人との交際



8. ボランティア活動

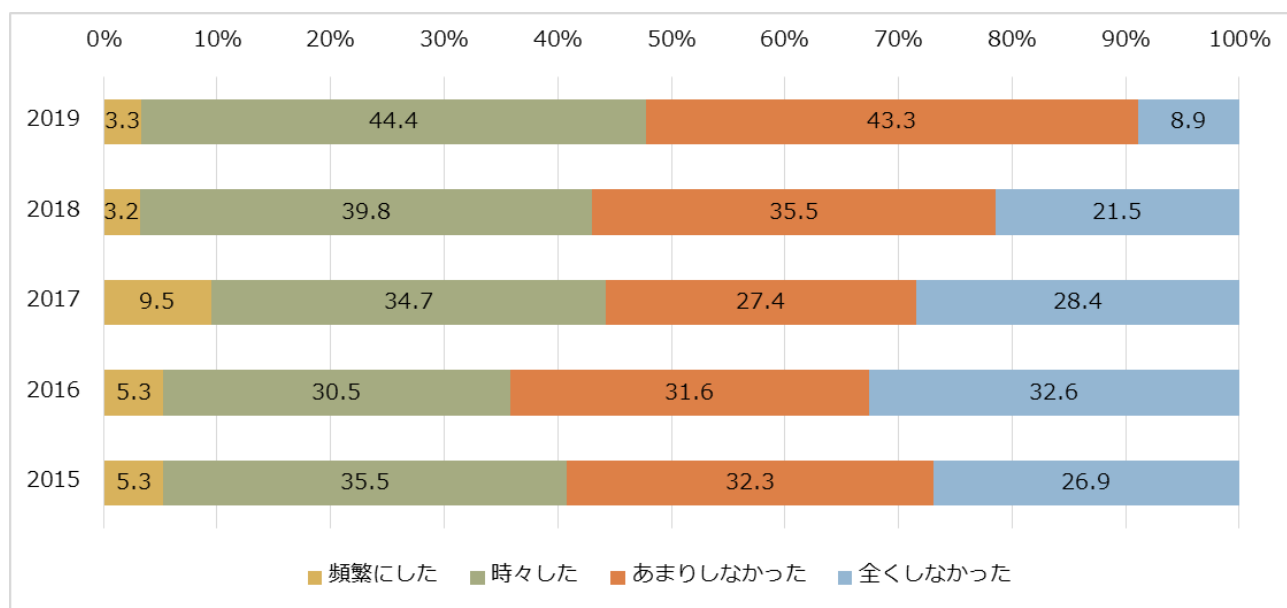


問 6 あなたが高校3年生だった時、次のことがらをどの程度しましたか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

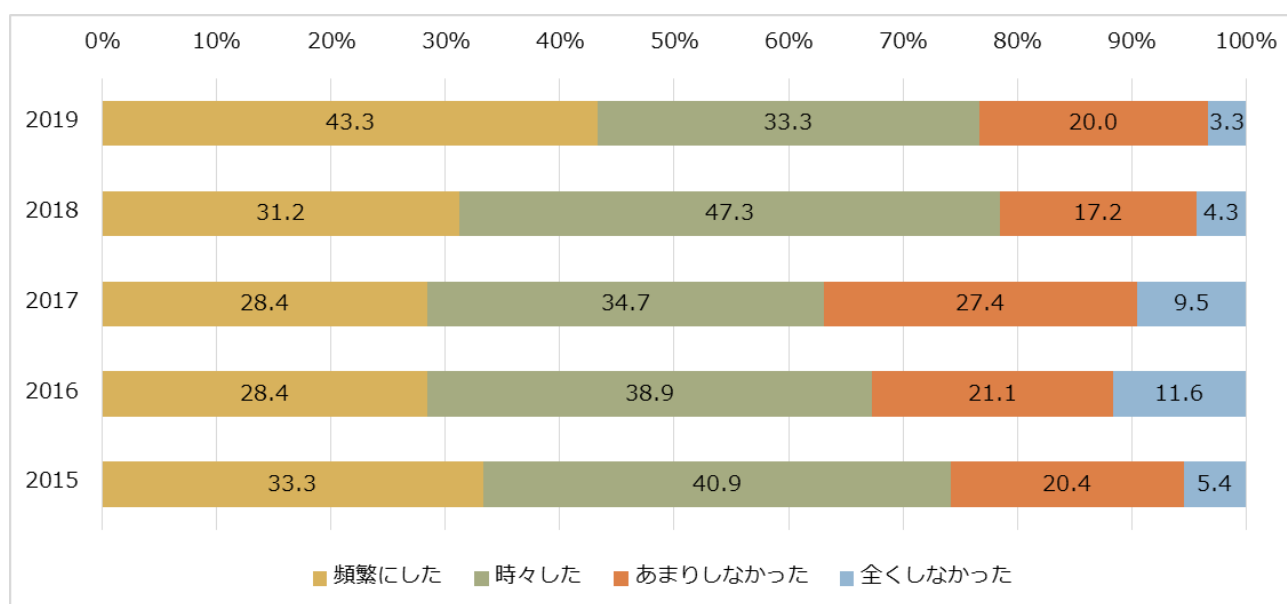
高3で費やした活動を問う項目である。2019年度は、2018年度と比べて、5「授業の予習や復習をした」という項目について、「頻繁にした」と「時々した」を合計した割合が増加した。その他の項目では、さほど大きな年度による差異は見られない。

1. 授業中に質問や発言をした（2017年度以降）

授業中、質問した（2015、16年度）

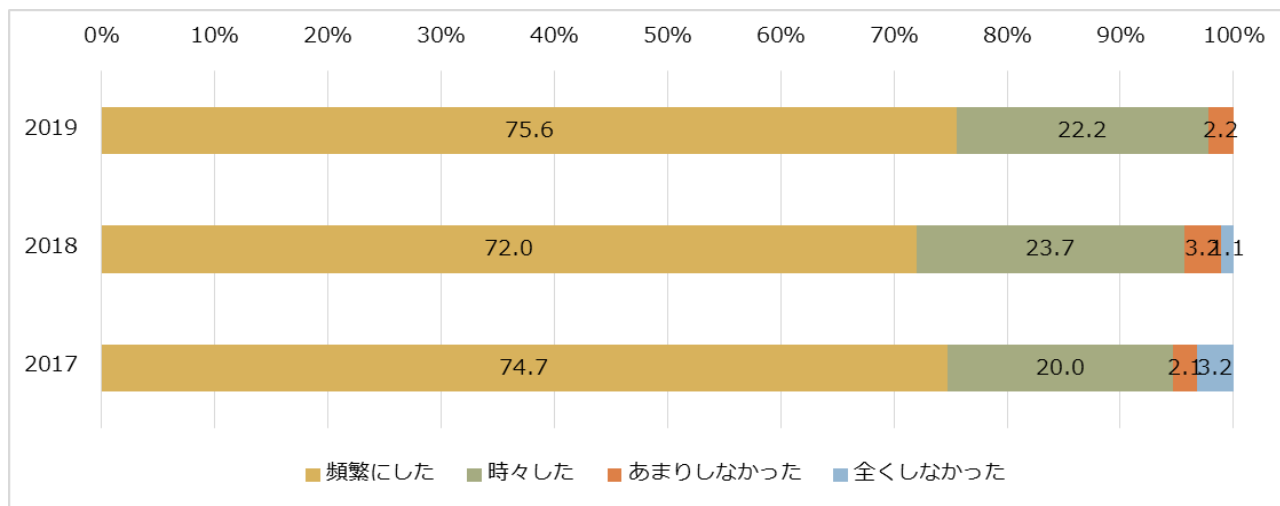


2. 計画を立てて学習した

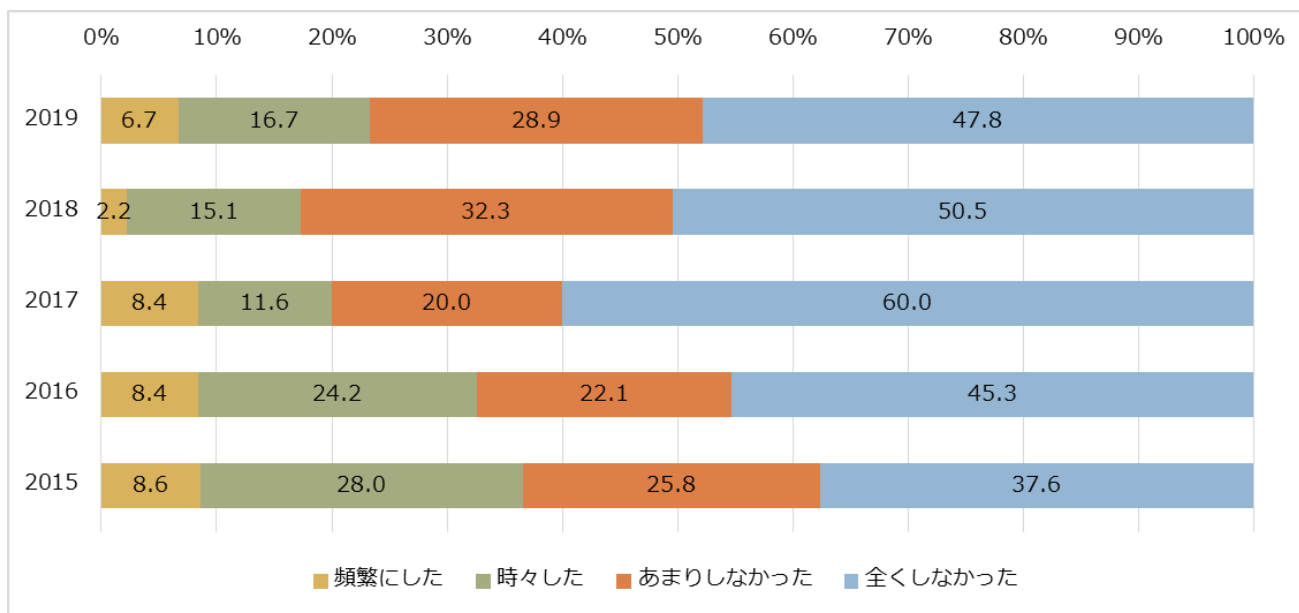


3. 授業中にノートやメモを取った（2017年度以降）

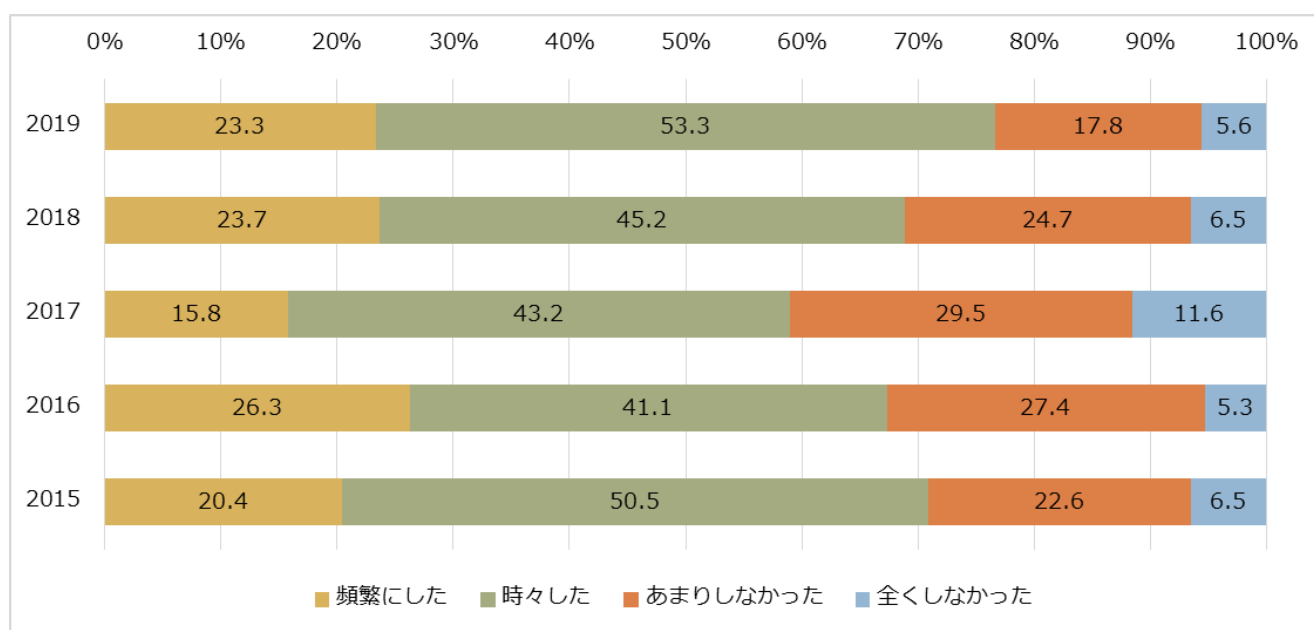
質問項目の内容が変わってしまったので、2017年度以降の比較を行った。



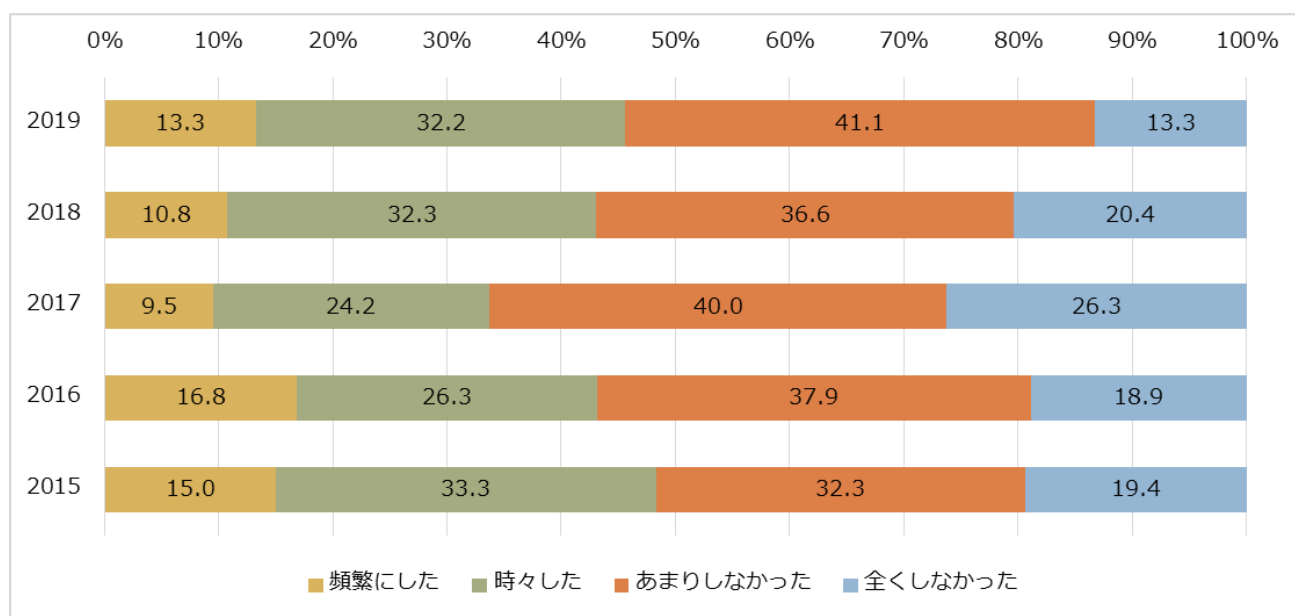
4. パソコンを使って文書や資料を作成した



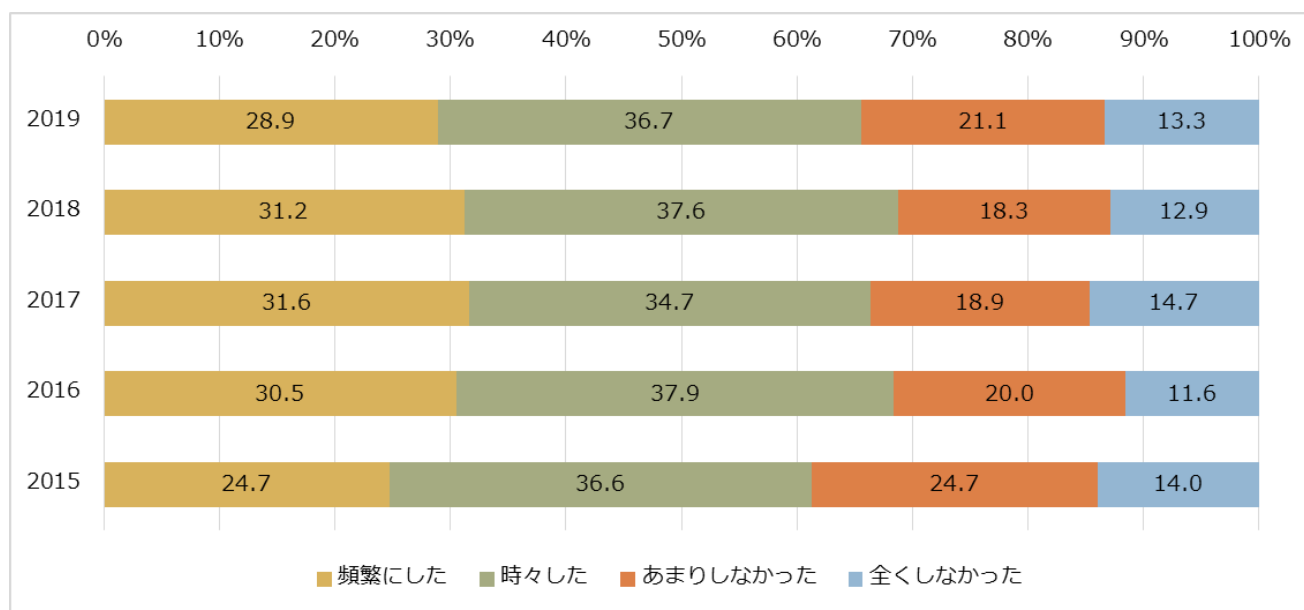
5. 授業の予習や復習をした



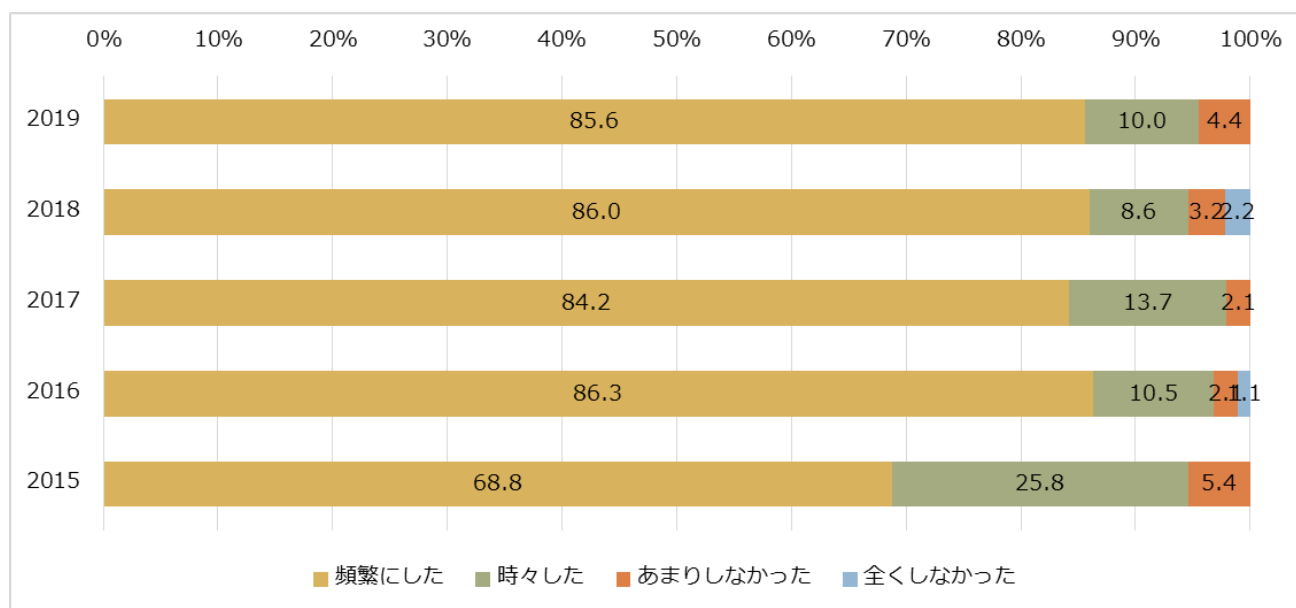
6. 授業の内容以外に興味あることを自分で勉強した



7. 授業以外の時間に、授業内容・進路・友人関係などについて教師に相談した



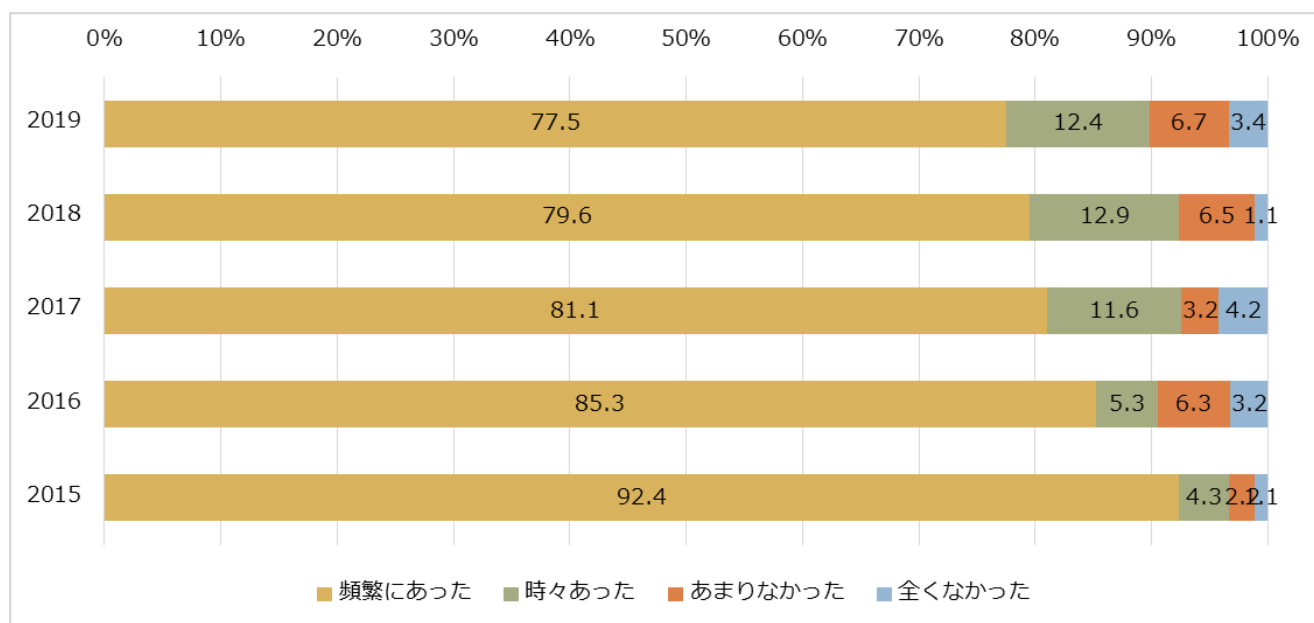
8. 提出物（宿題・レポートなど）を提出した



問 7 高校での授業で以下の形態・方法が取られたものがありましたか。あてはまる番号にそれぞれ 1 つ〇をつけてください。

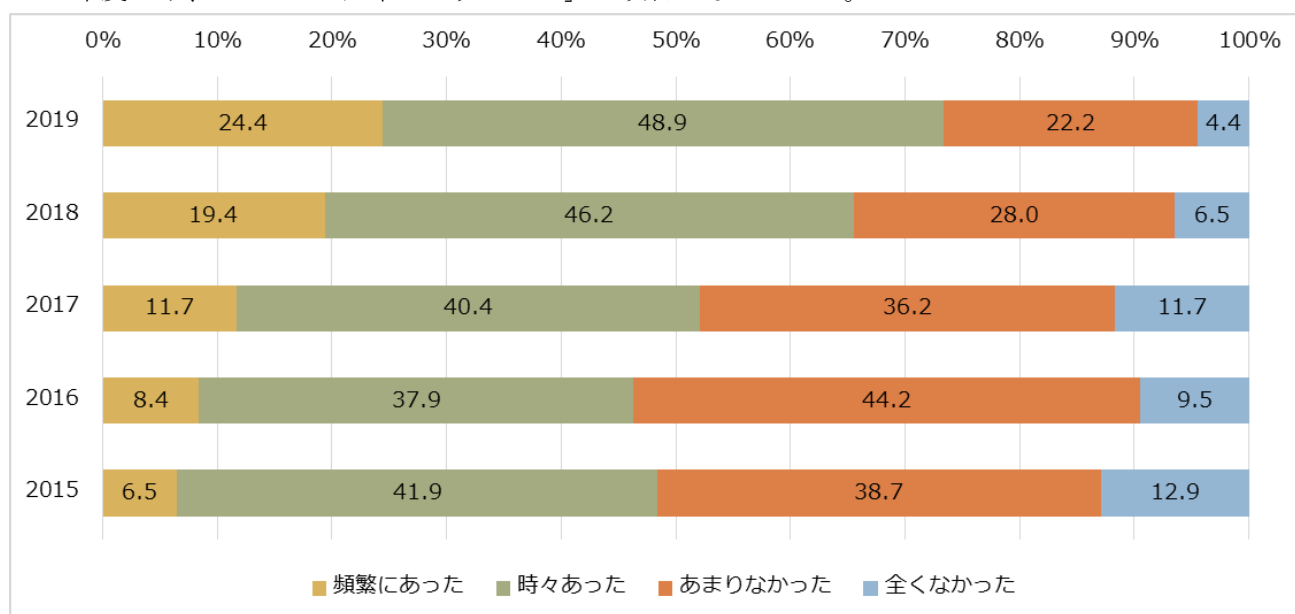
高校での授業形態・方法について問う項目である。2019年度は、2018年度と比べて、2「ディスカッション／グループディスカッション」、3「学生によるプレゼンテーション」、4「グループでの作業や活動」、7「教師が提出物（レポート・宿題など）を添削・返却」、11「タブレット端末、電子黒板等の活用」に関して、「頻繁にあった」と「時々あった」を合計した割合が増加した。その他の項目では、さほど大きな年度による差異は見られない。

1. 出欠の確認

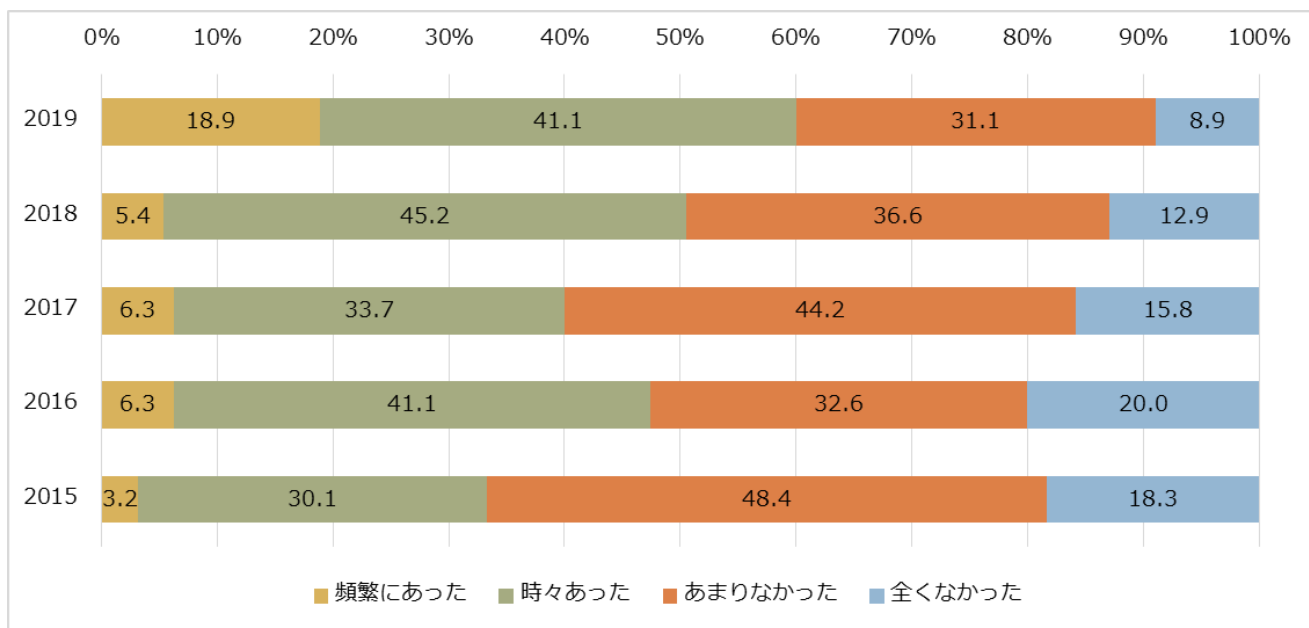


2. ディスカッション / グループディスカッション

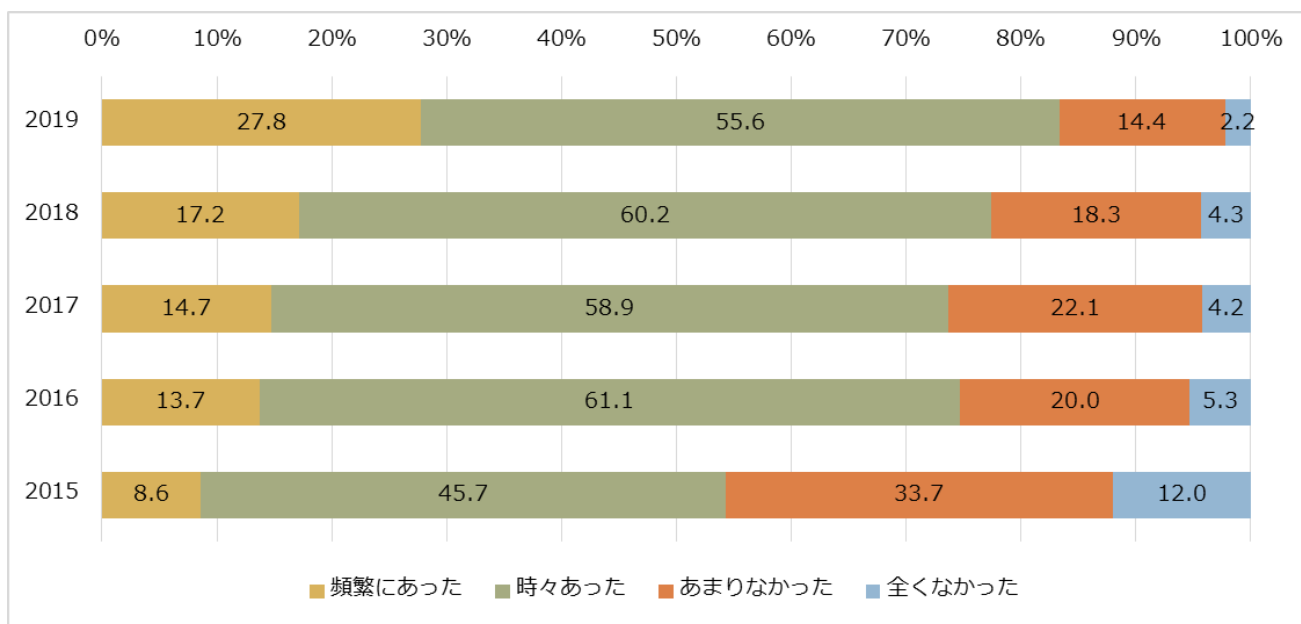
2017年度のみ、「グループディスカッション」の項目となっていた。



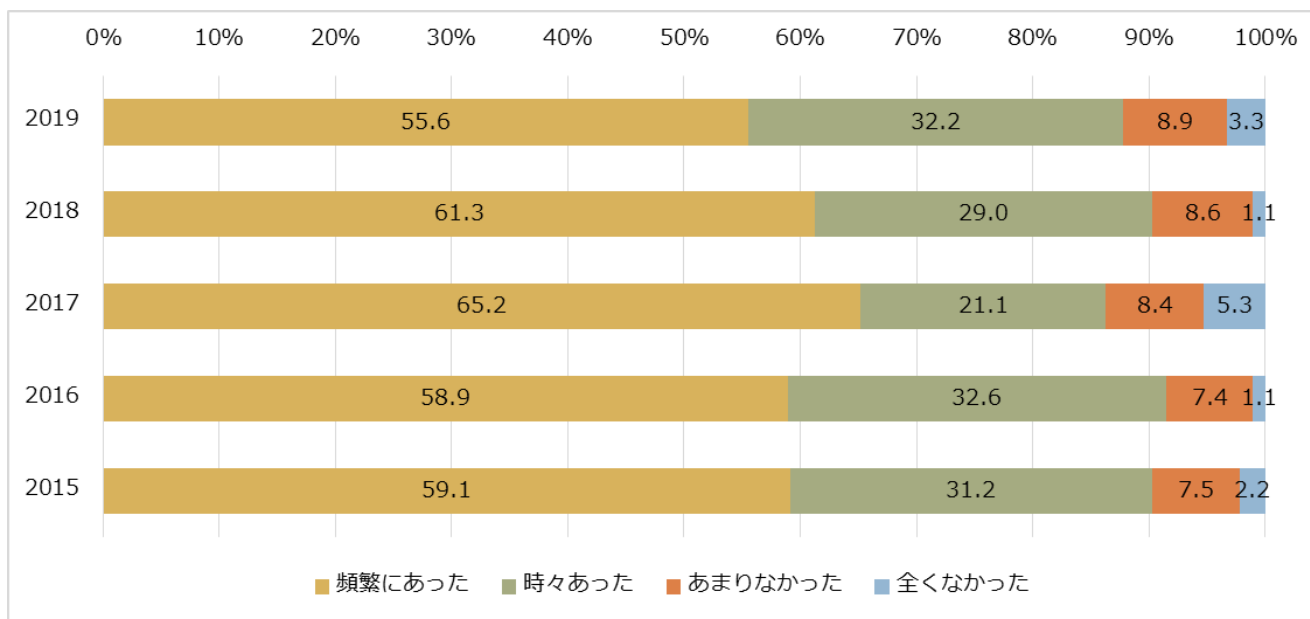
3. 学生によるプレゼンテーション



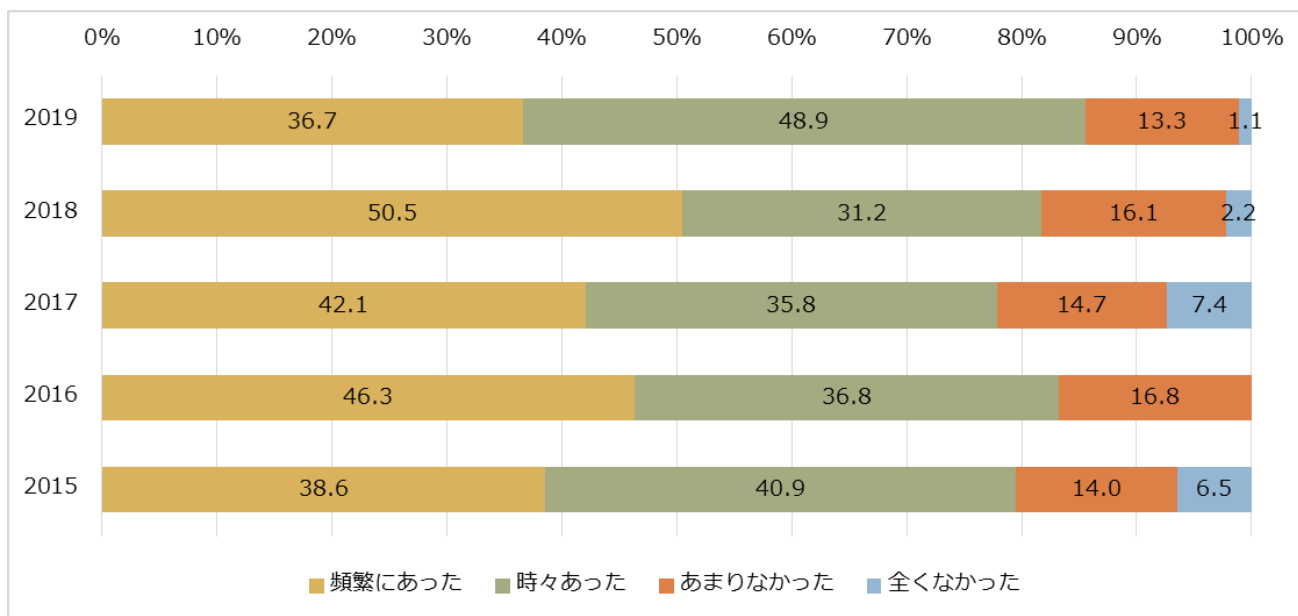
4. グループでの作業や活動



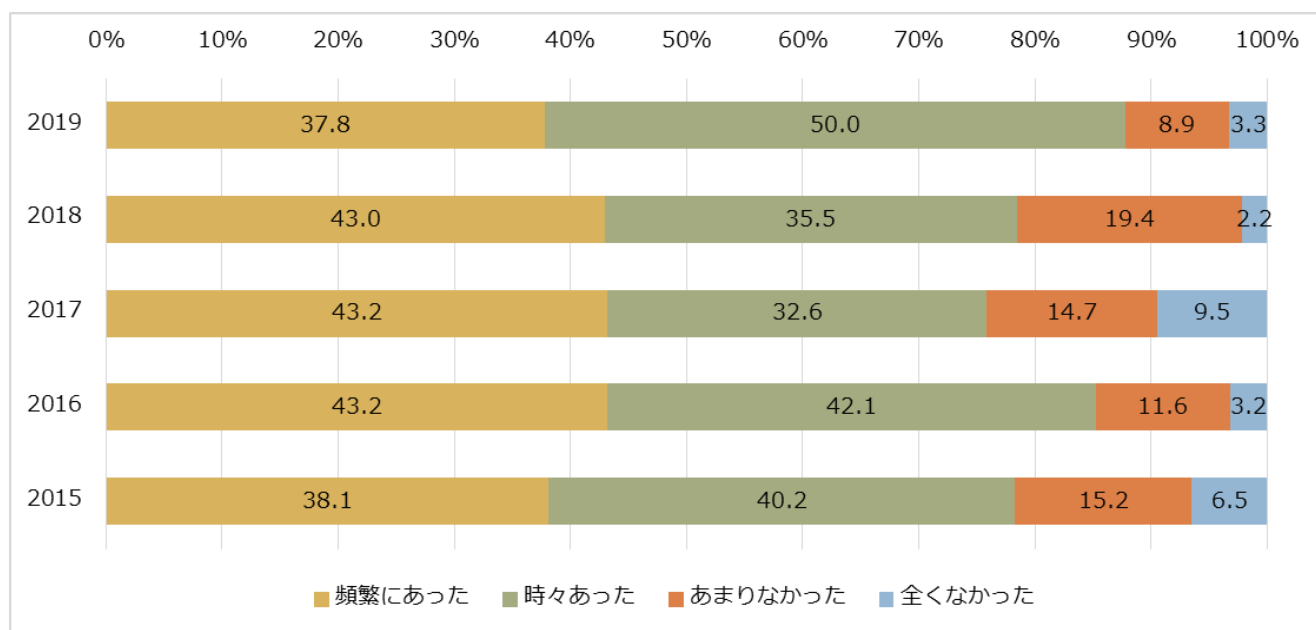
5. 習熟度チェックや小テスト



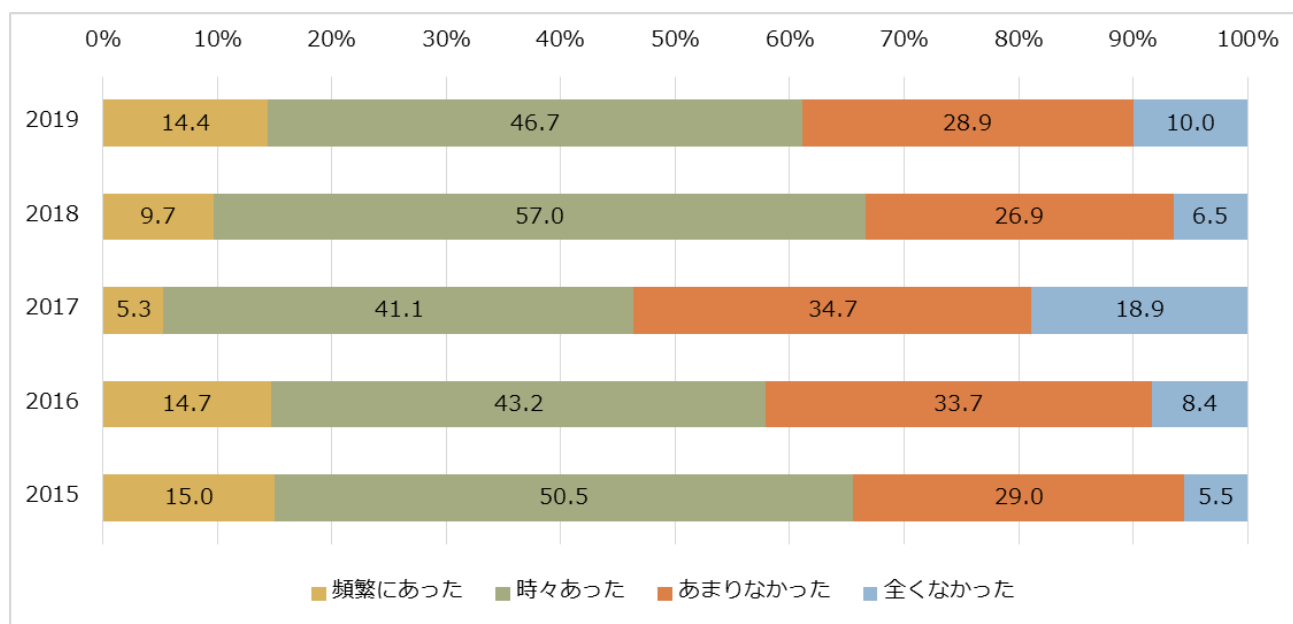
6. レポート・宿題などの提出



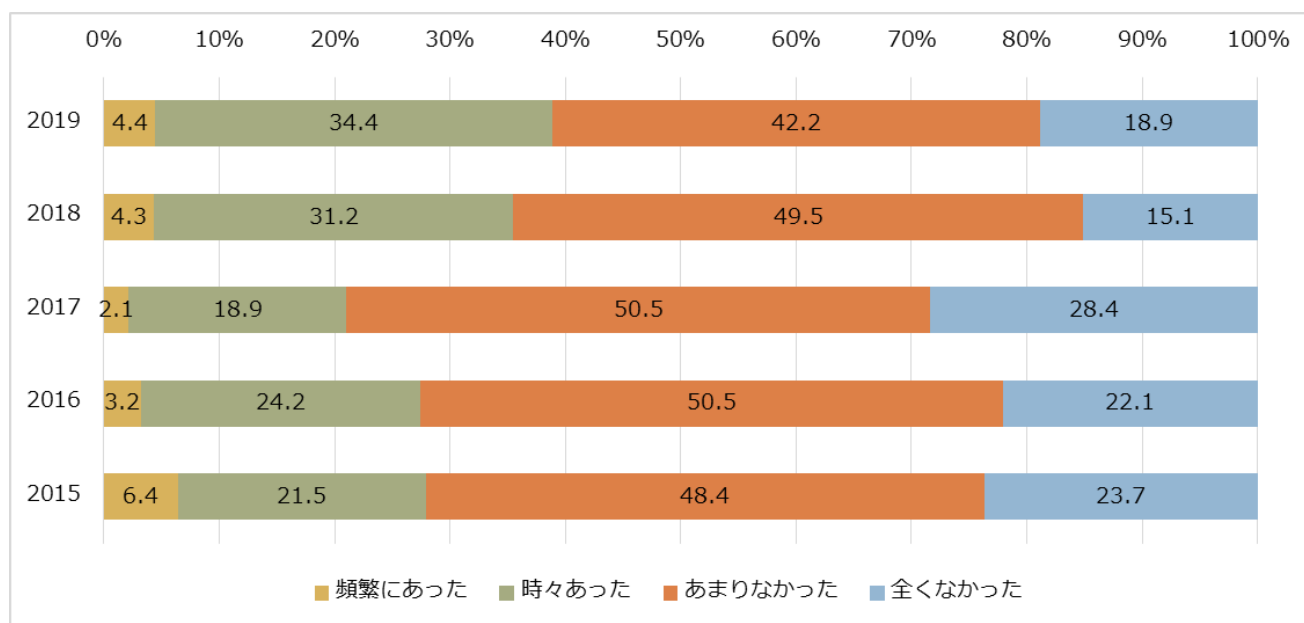
7. 教師が提出物（レポート・宿題など）を添削・返却



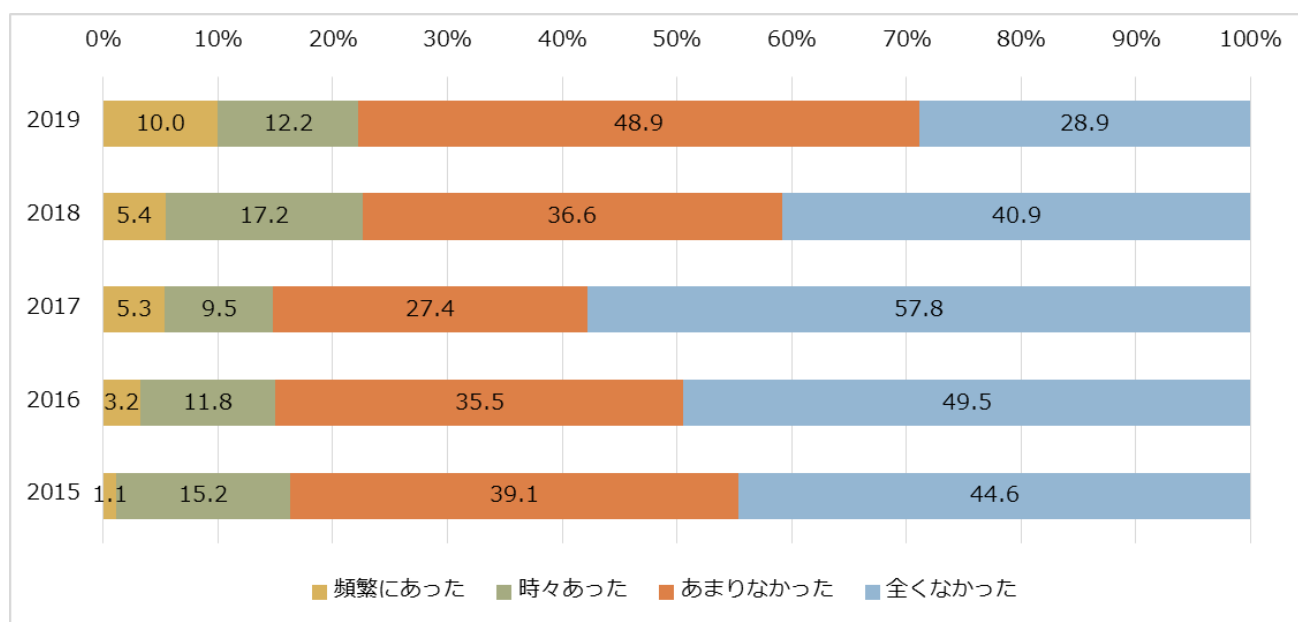
8. 実習・実験



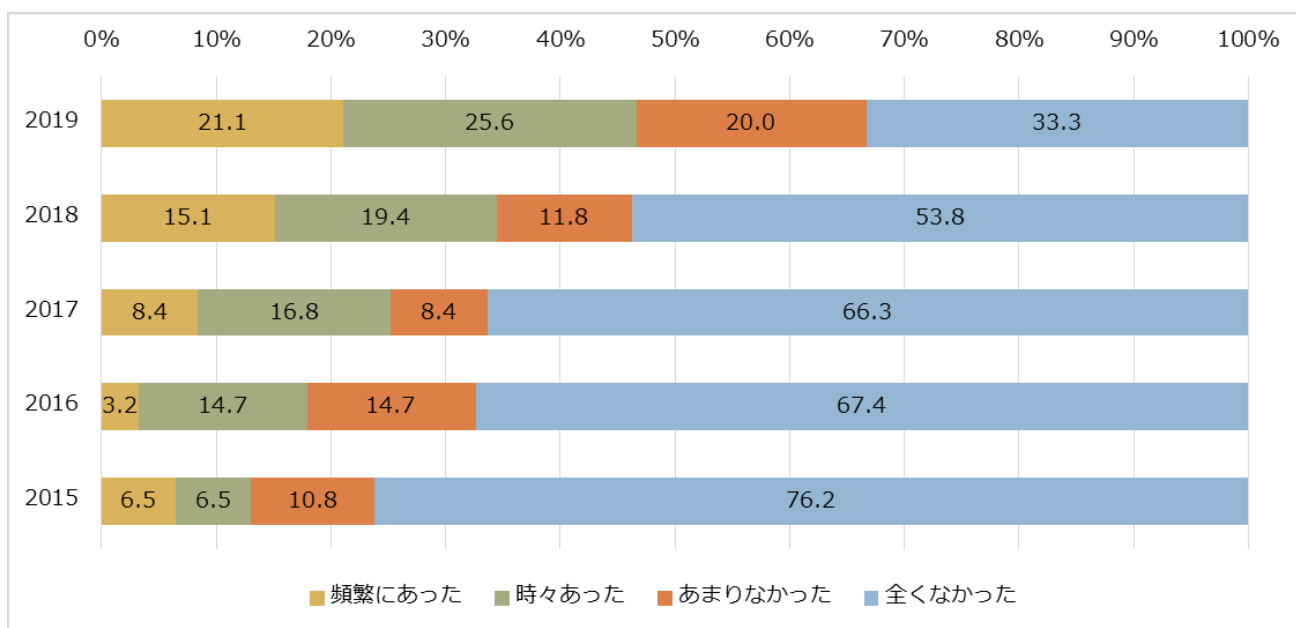
9. 体験学習



10. PBL テュートリアル (問題解決型学習)



11. タブレット端末、電子黒板等の活用

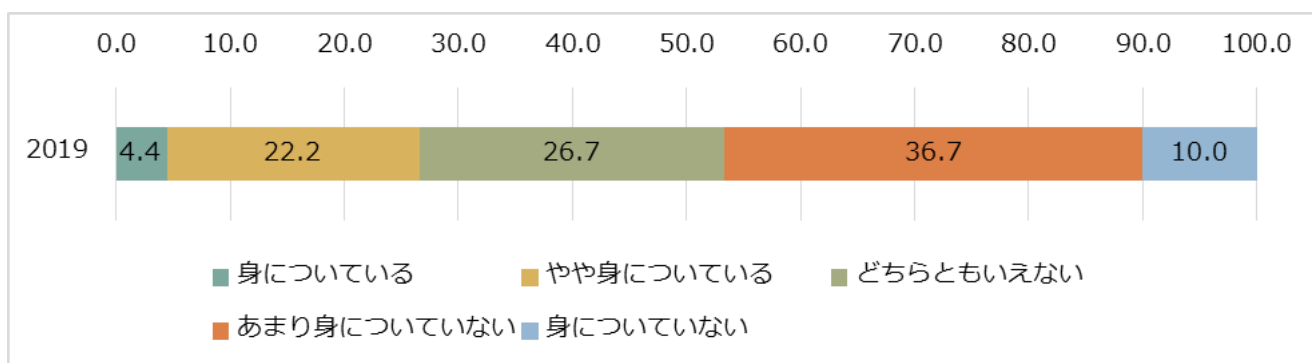


問 8 現在、次のような力がどの程度身についていると思いますか。あてはまる番号にそれぞれ 1 つ○をつけてください。

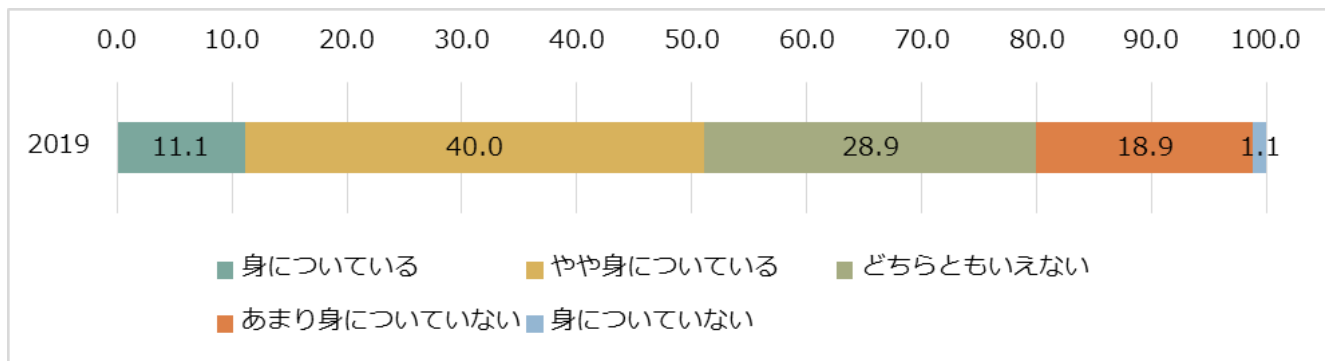
学生が獲得している能力（スキル）を問う項目である。2019年度は、「学習行動調査」の項目に合わせて内容を大幅に改定したため、年度の比較は行っていない。医学科と共通項目である。

1「プレゼンテーションの能力」、17「パソコン等を使って文書や資料を作成する能力」で、「身につけていない」と回答した割合が10%を超えていた。

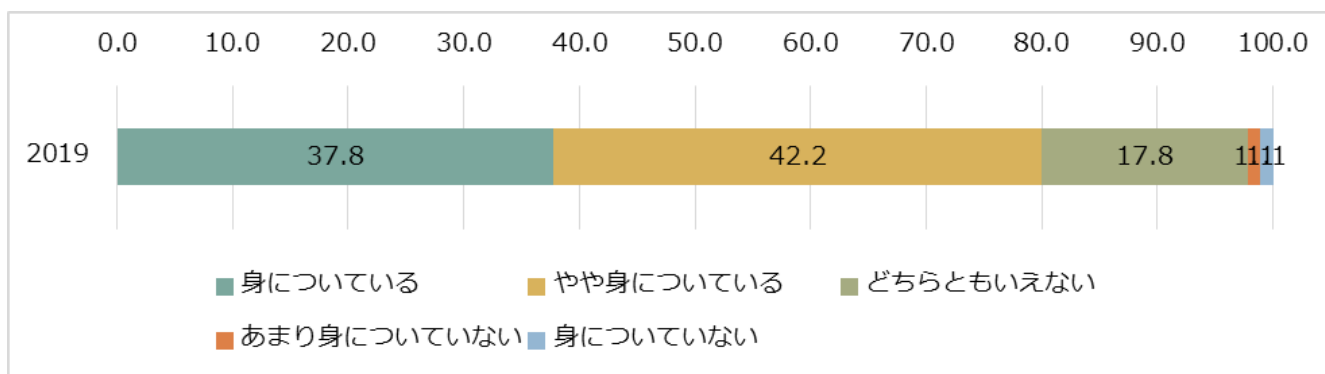
01. プレゼンテーションの能力



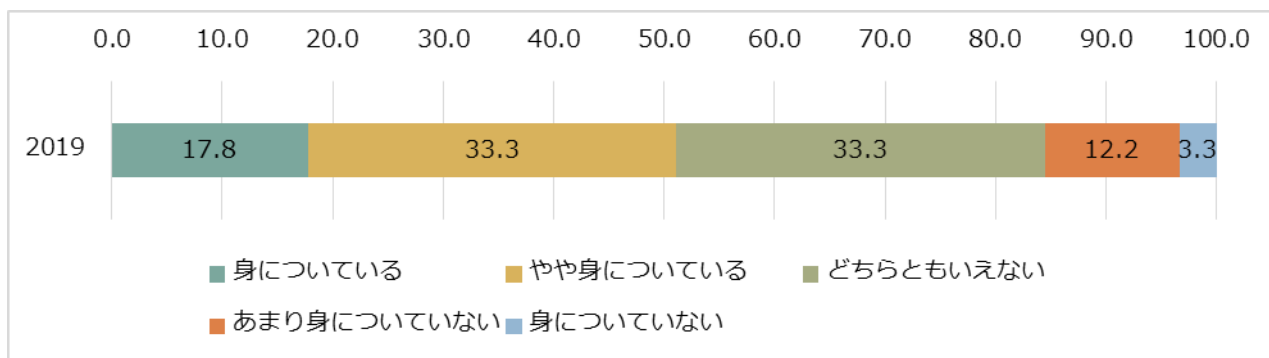
02. 図書館やインターネットで資料や文献を調べる能力



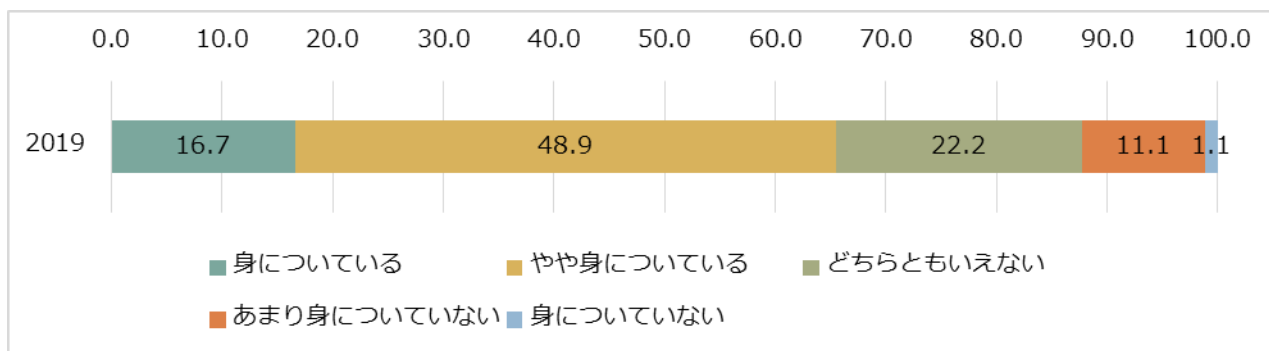
03. ものごとに対して粘り強く取り組む能力



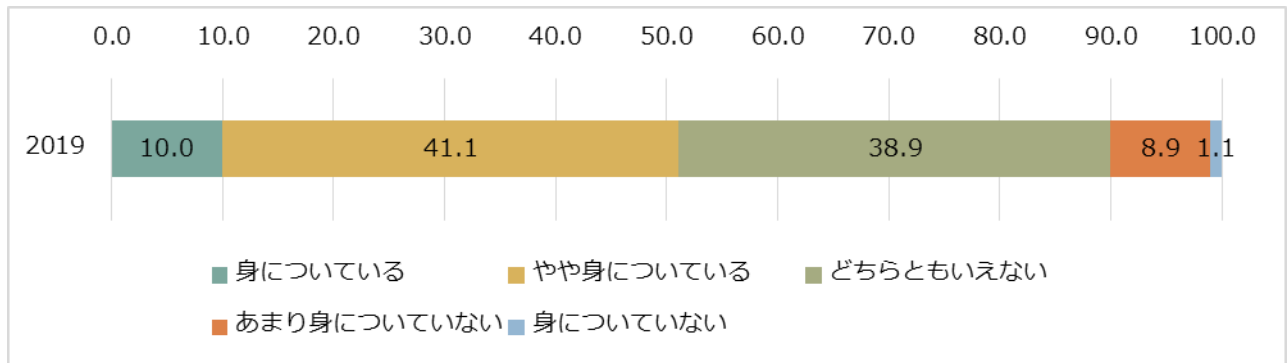
04. 定められた形式に従ってレポートを書く能力



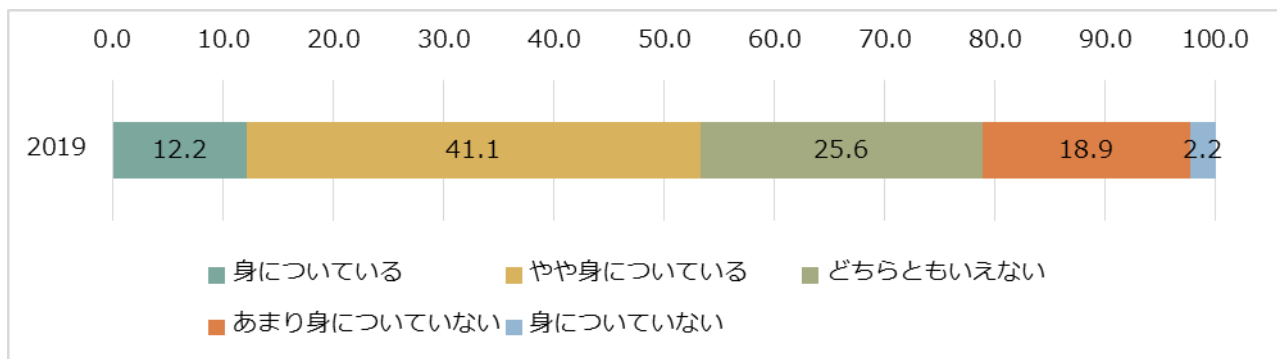
05. 資料を読んで要点を理解する能力



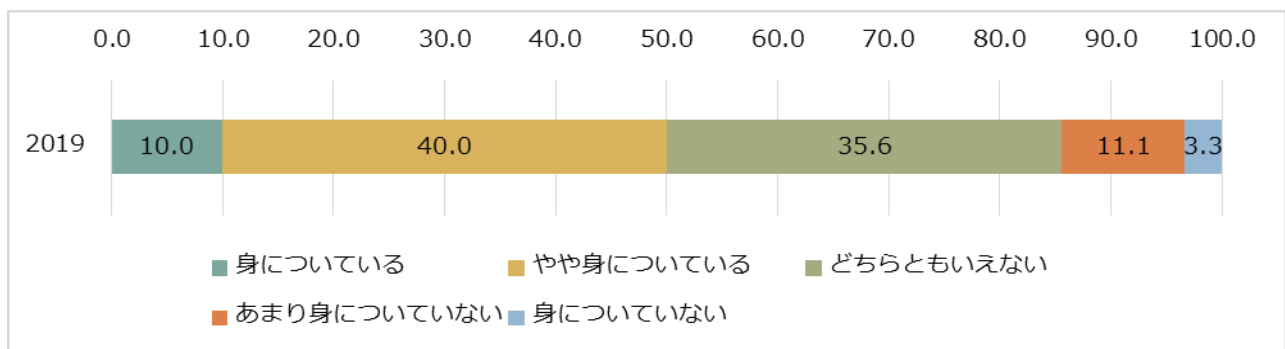
06.ものごとの問題点をみつけ解決方法を考える能力



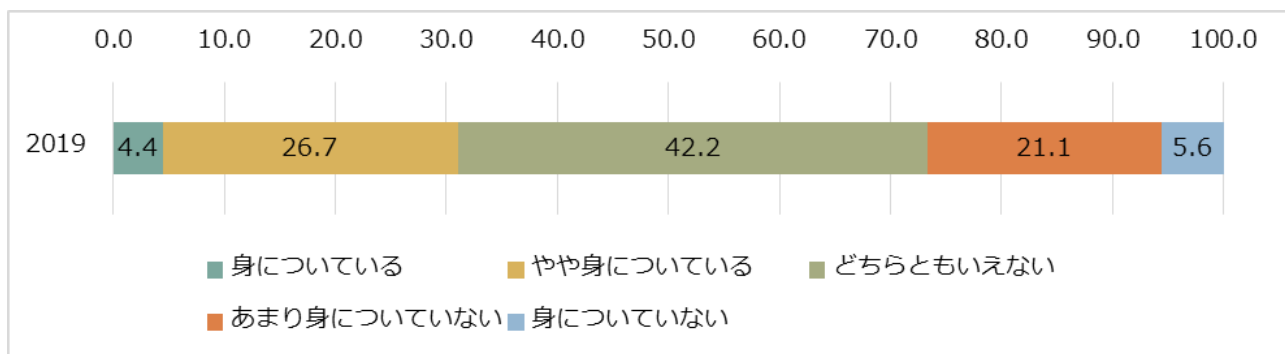
07.時間を有効に利用する能力



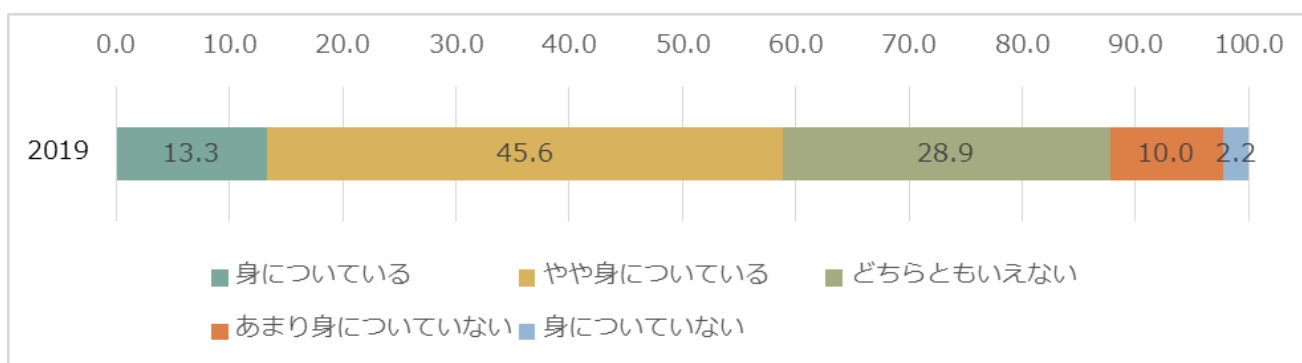
08.ものごとを分析的・批判的に考える能力



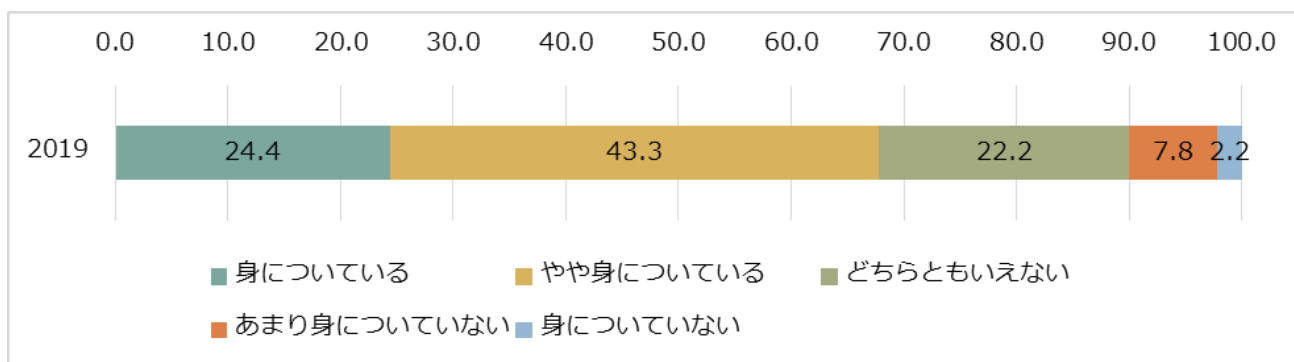
09.ものごとを分析的・批判的に考える能力



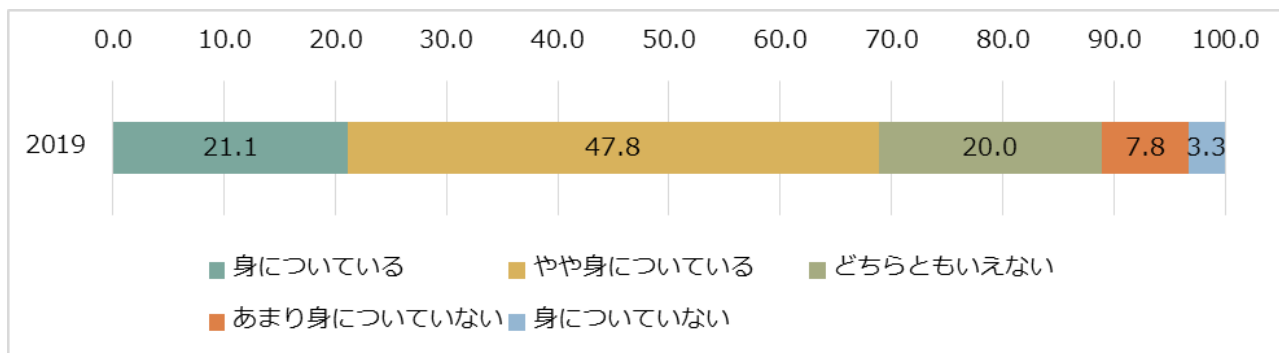
10.文化的、国際的な多様性を理解する能力



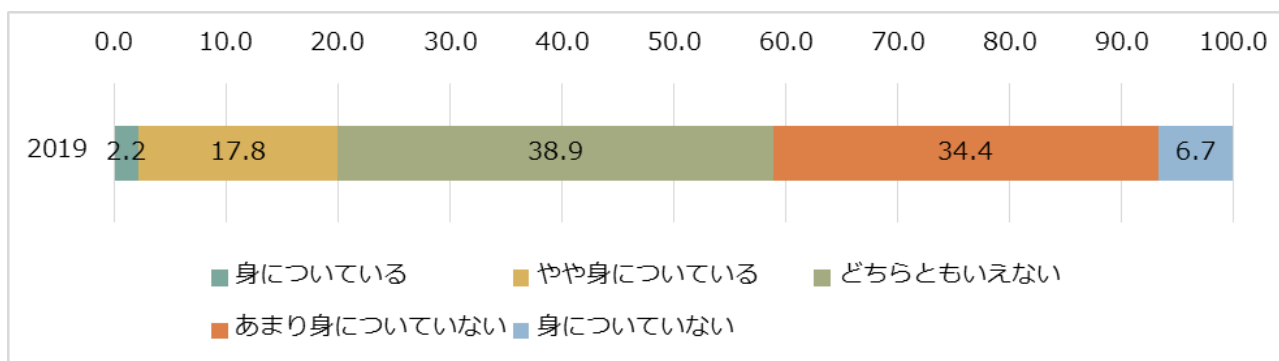
11.人間関係を築く能力



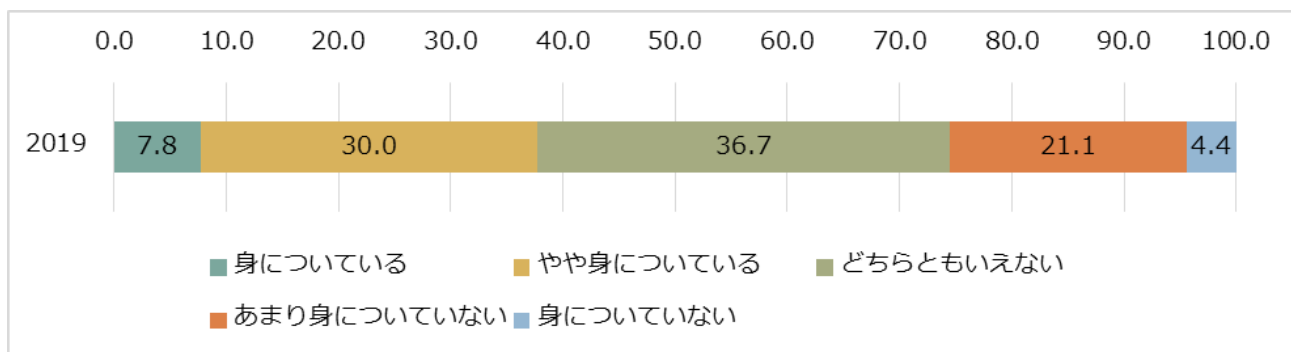
12.計画や目標を立てて行動する能力



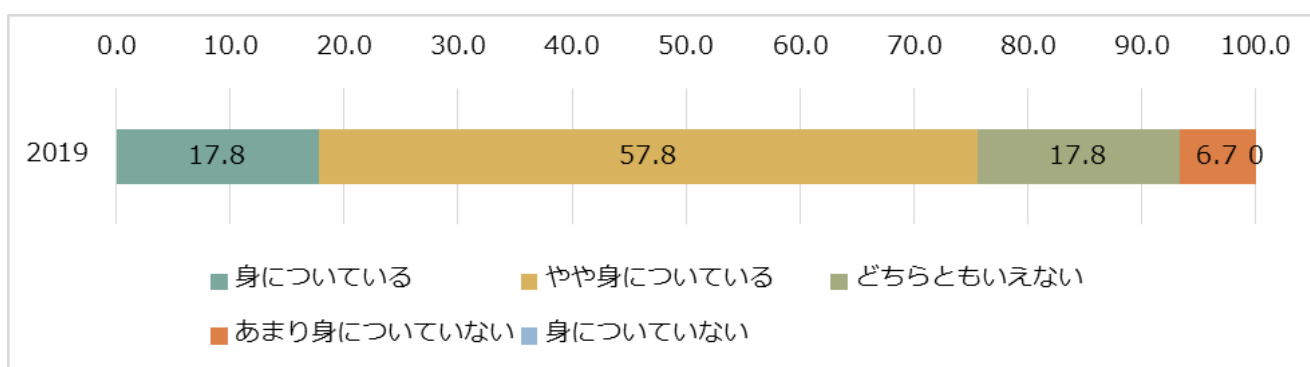
13.外国語の運用能力



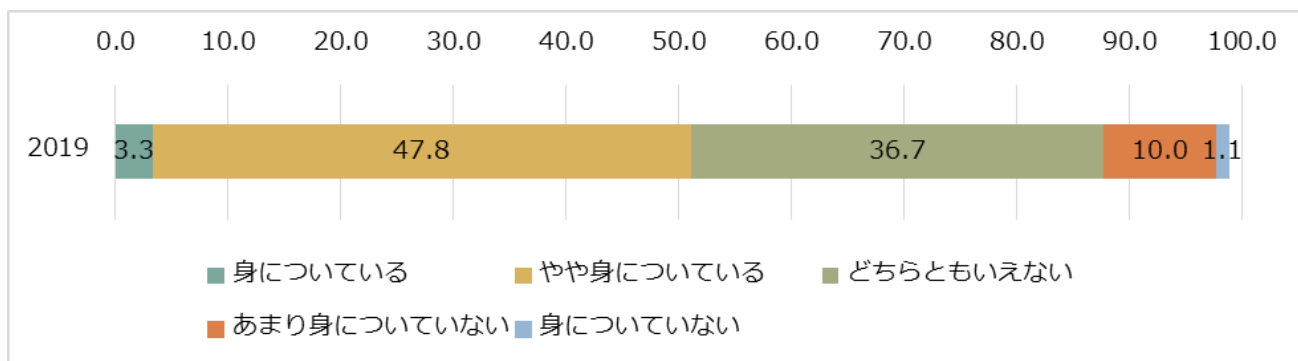
14. リーダーシップの能力



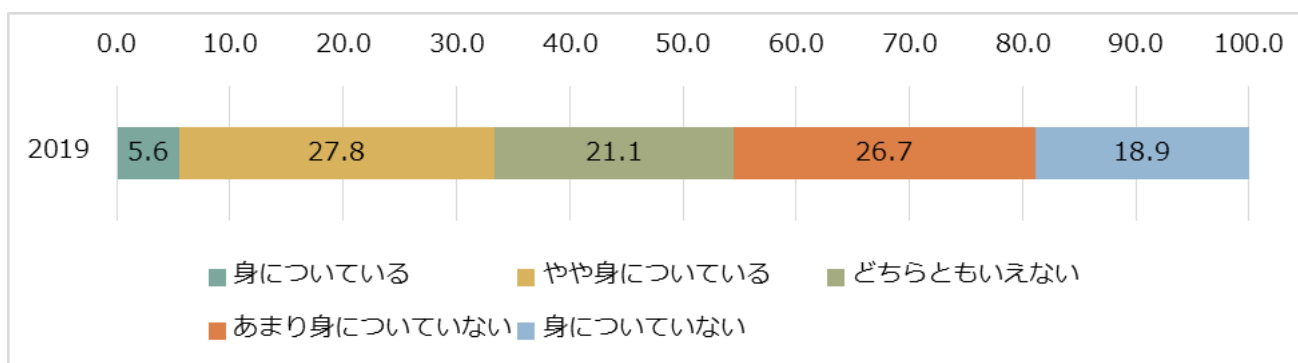
15. 授業の重要なポイントをノートにまとめる能力



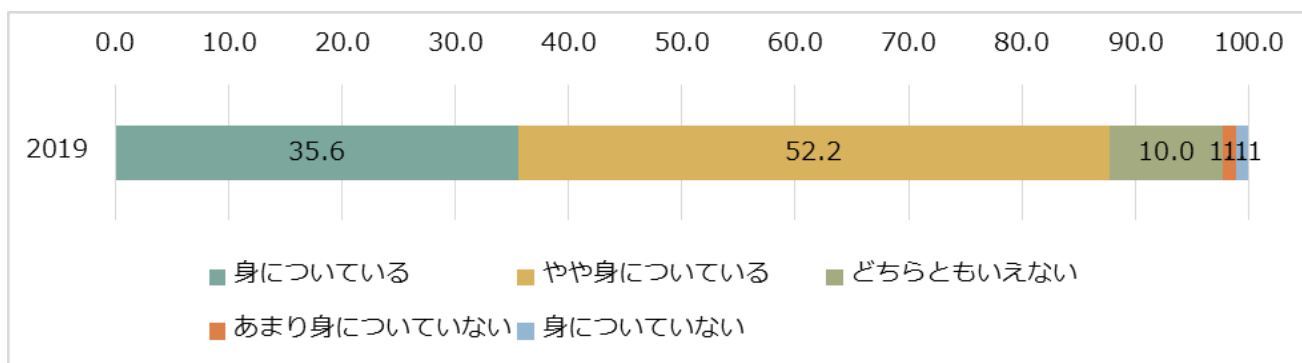
16. 授業の科目に関する知識や技能



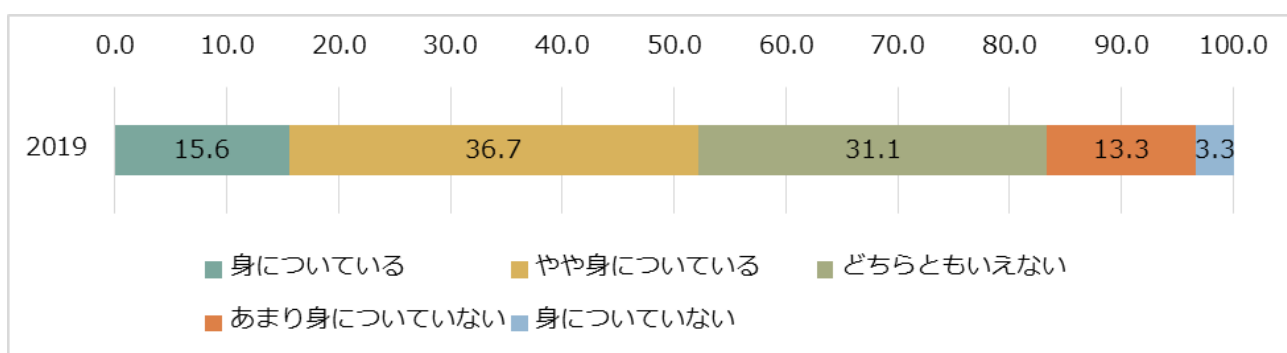
17. パソコン等を使って文書や資料を作成する能力



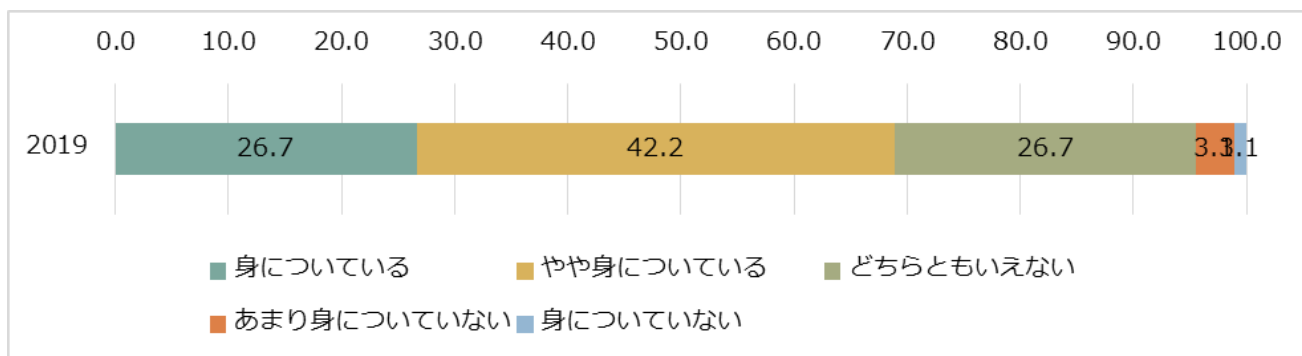
18. 他の人と協力して物事を遂行する能力



19. 自分の意見を筋道立てて表現する能力



20. コミュニケーションの能力

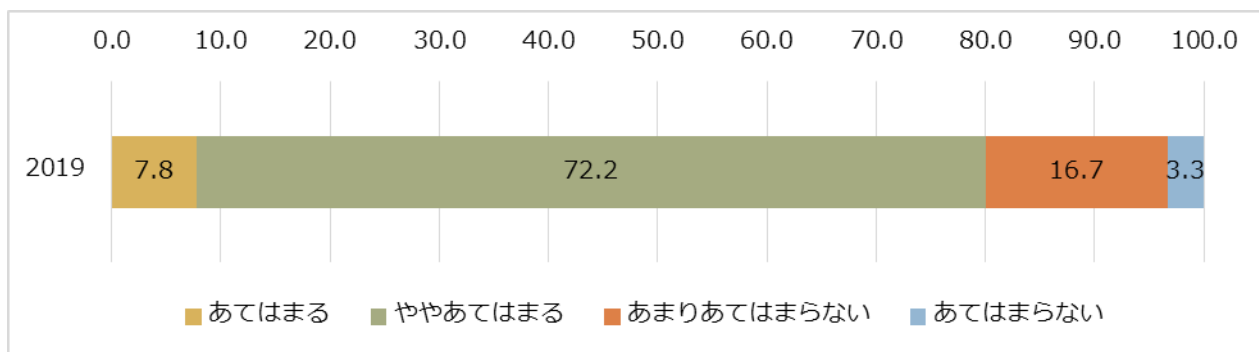


問 9 あなたは、以下の項目にどの程度当てはまりますか。当てはまる番号それぞれ 1 つ○をつけてください

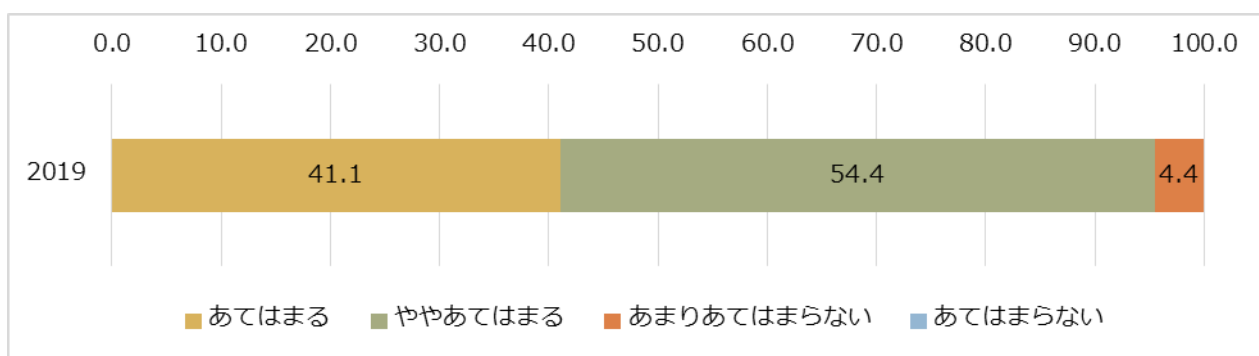
アドミッションポリシーをどの程度満たしているかを尋ねる項目である。2019 年度に追加した項目であるため、年度の比較は行っていない。

1「十分な基礎学力がある」、8「看護を通じて国際的な視野で活躍する志がある」において、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の合計割合が高く、順に、20.0%、18.9%だった。

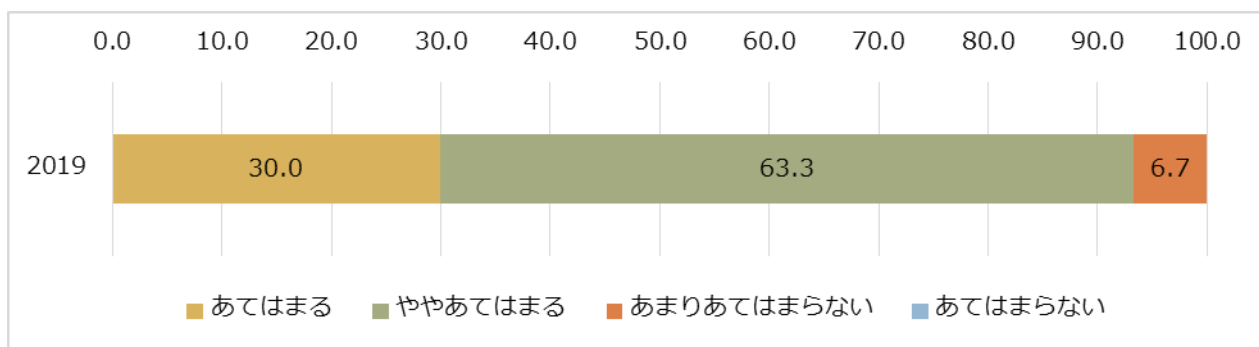
1. 十分な基礎学力がある



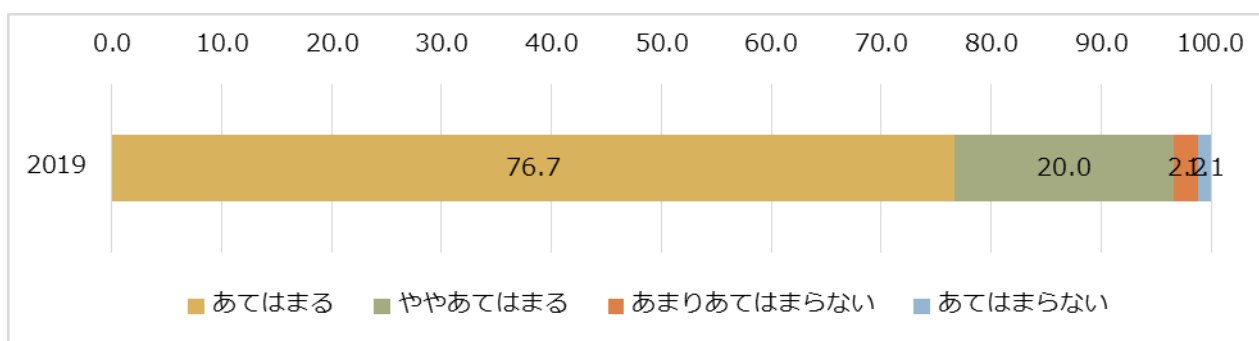
2. 主体的に学ぶ姿勢がある



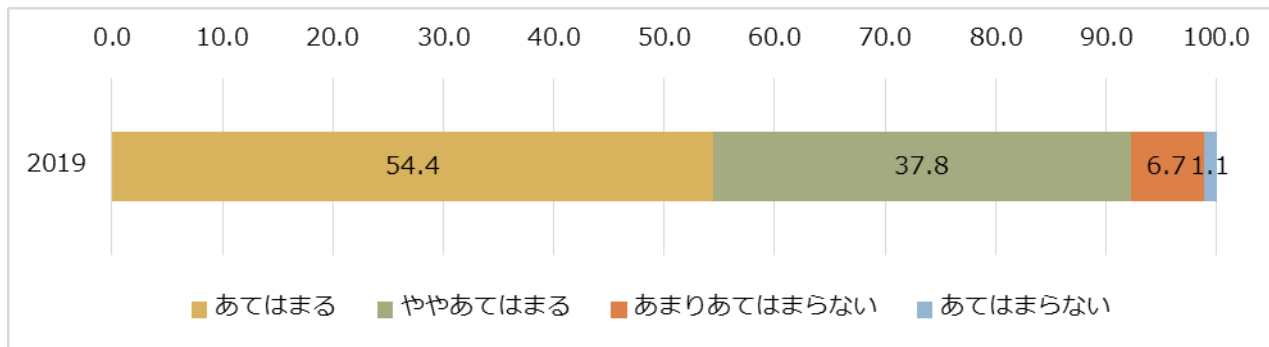
3. 積極的に問題を解決しようとする



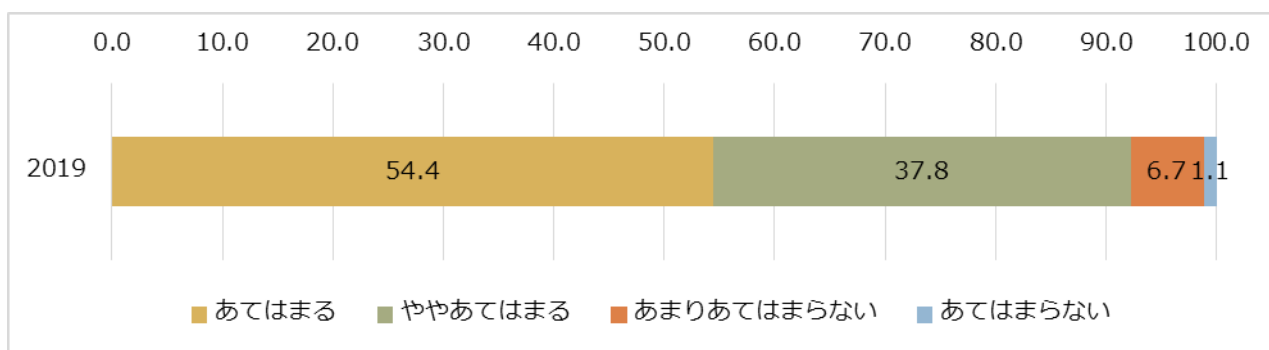
4. 看護への強い関心を有する



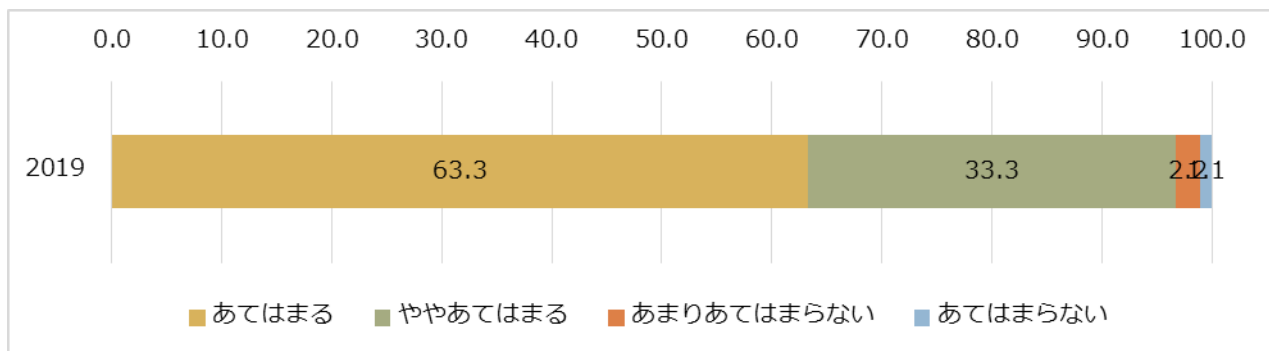
5. 社会貢献への意欲が高い



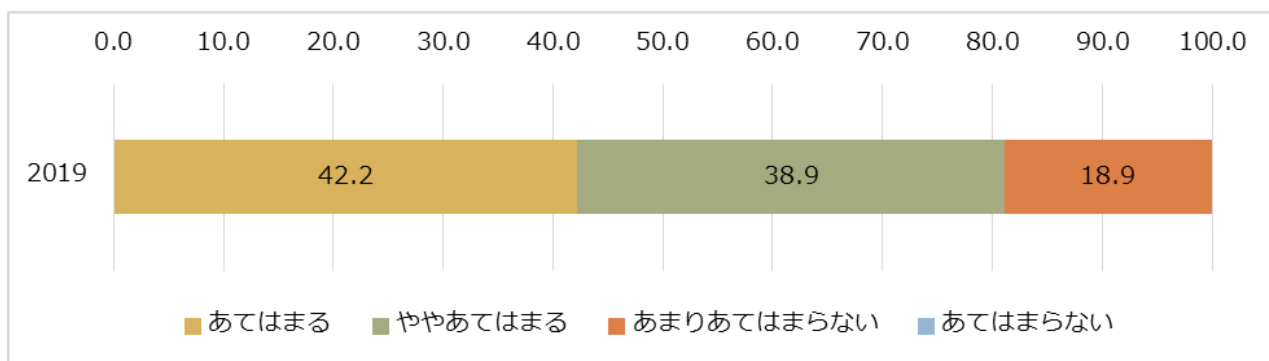
6. 豊かな感性を備えている



7. 他者と関係を育むことをいとわない

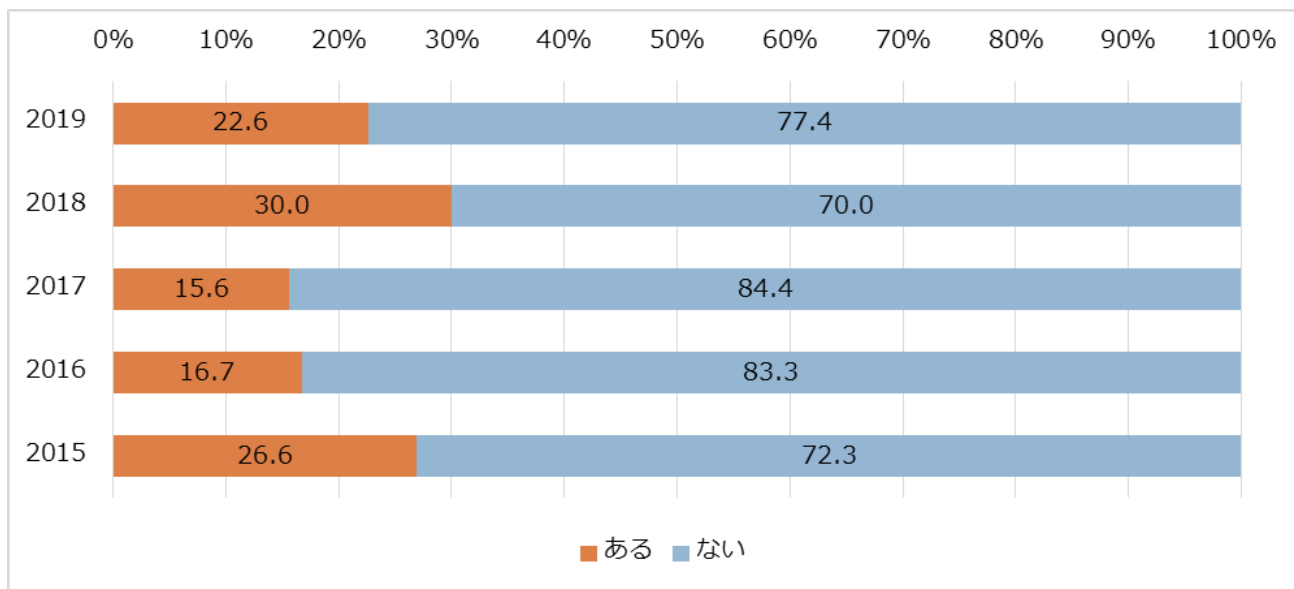


8. 看護を通じて国際的な視野で活躍する志がある



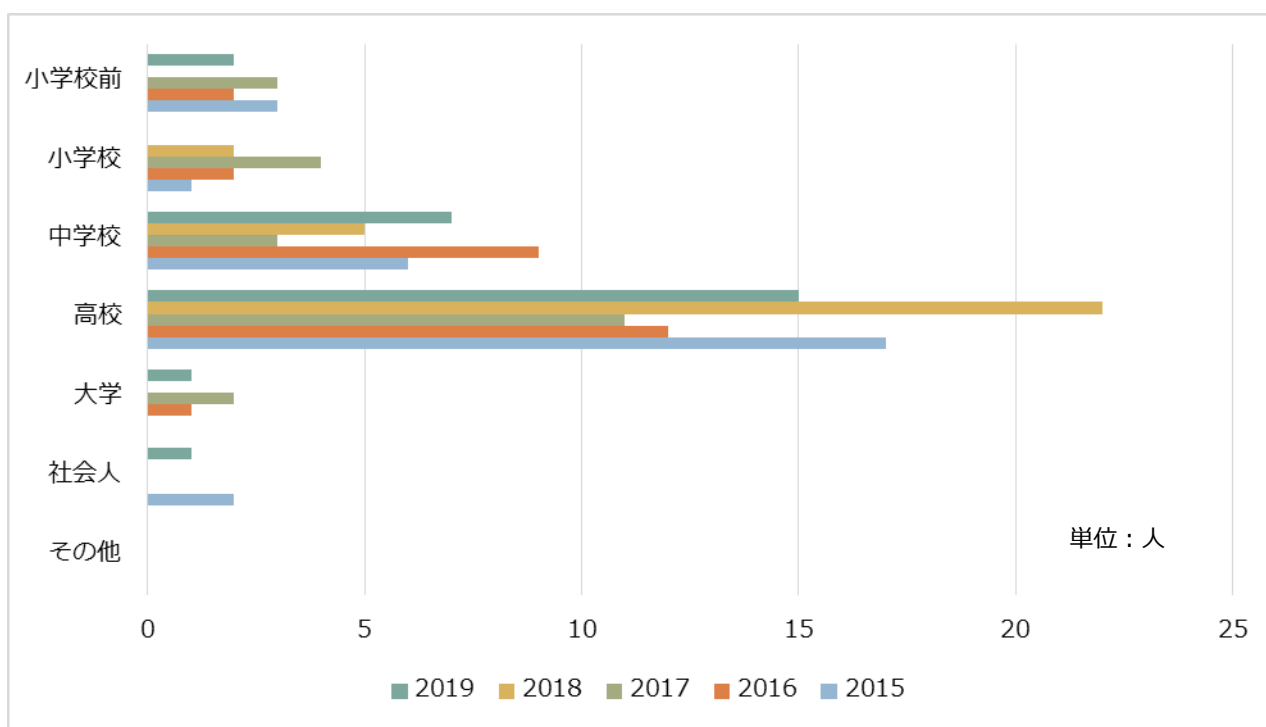
問 10 これまで国外での滞在（居住）・留学・研修など（海外旅行は除く）の経験はありますか。

これまでの海外滞在経験を尋ねた項目である。滞在経験が「ある」者は、高校生の時が多く、学校での研修が多い等の結果は、年度による大きな違いは見られない。2019年度に新規に尋ねた滞在国に関しては、上位から、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド、カナダと続き、上位は全て英語圏であった。

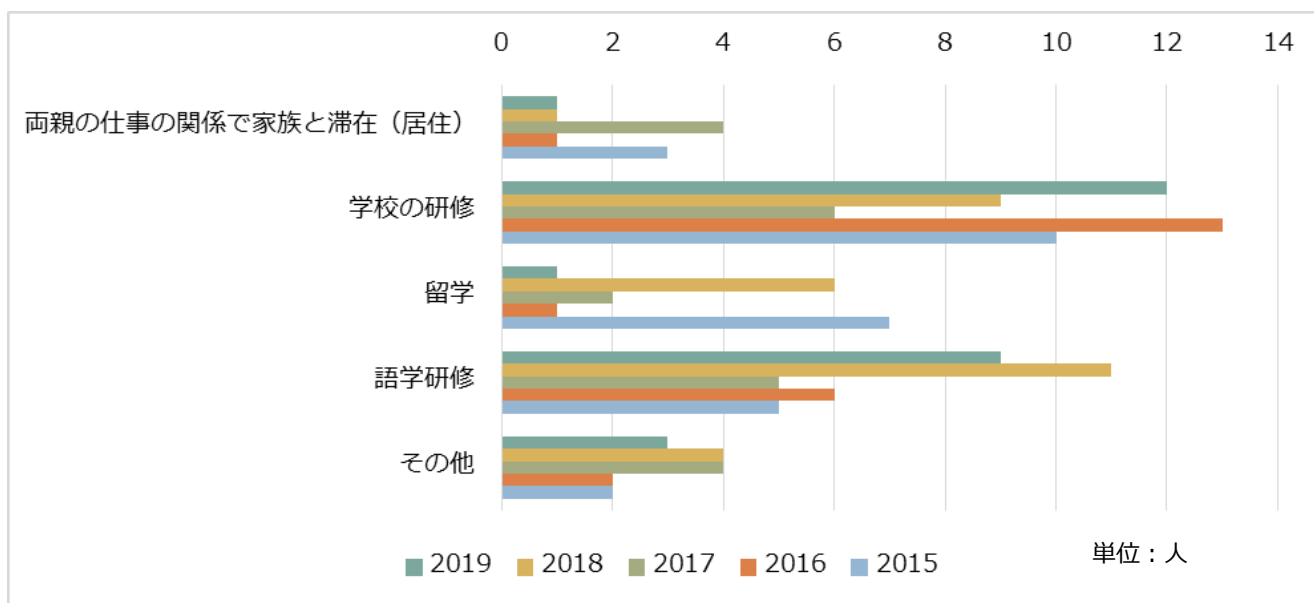


「ある」と回答した者の内訳（複数可）

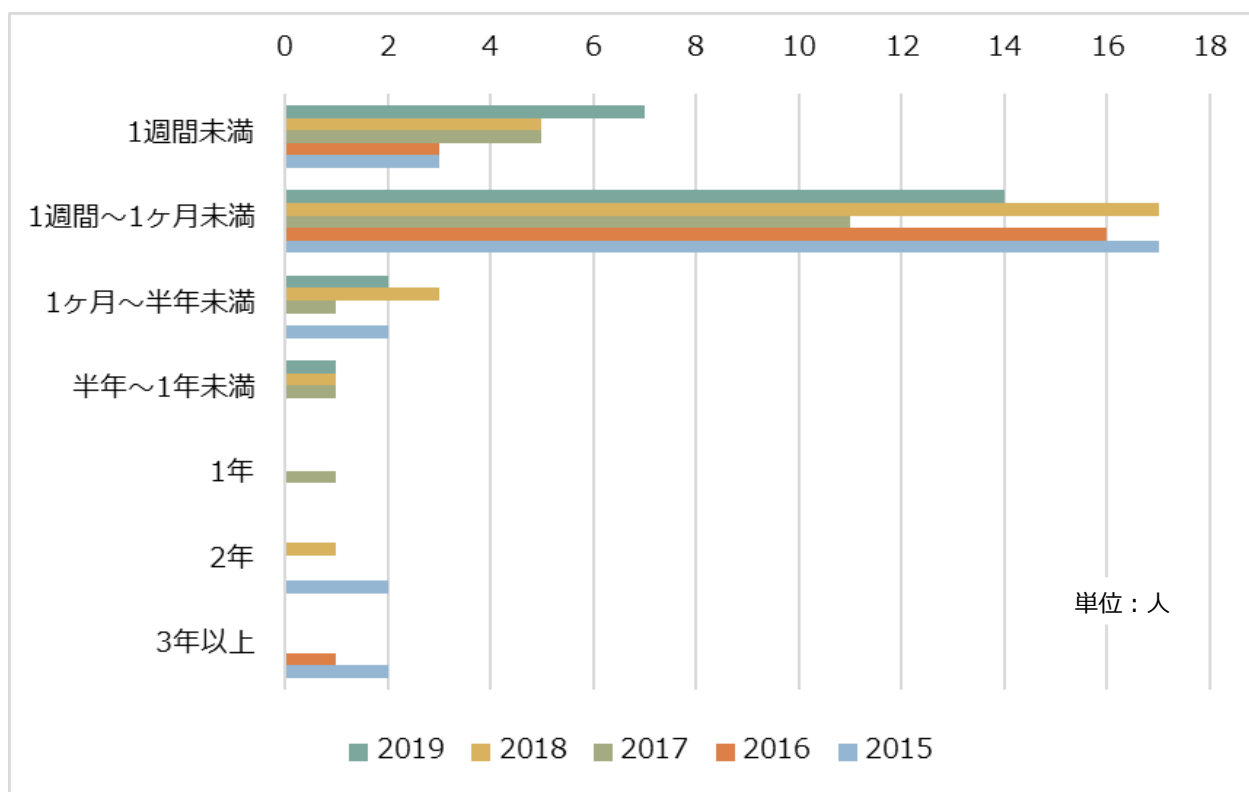
①時期



②理由



③期間

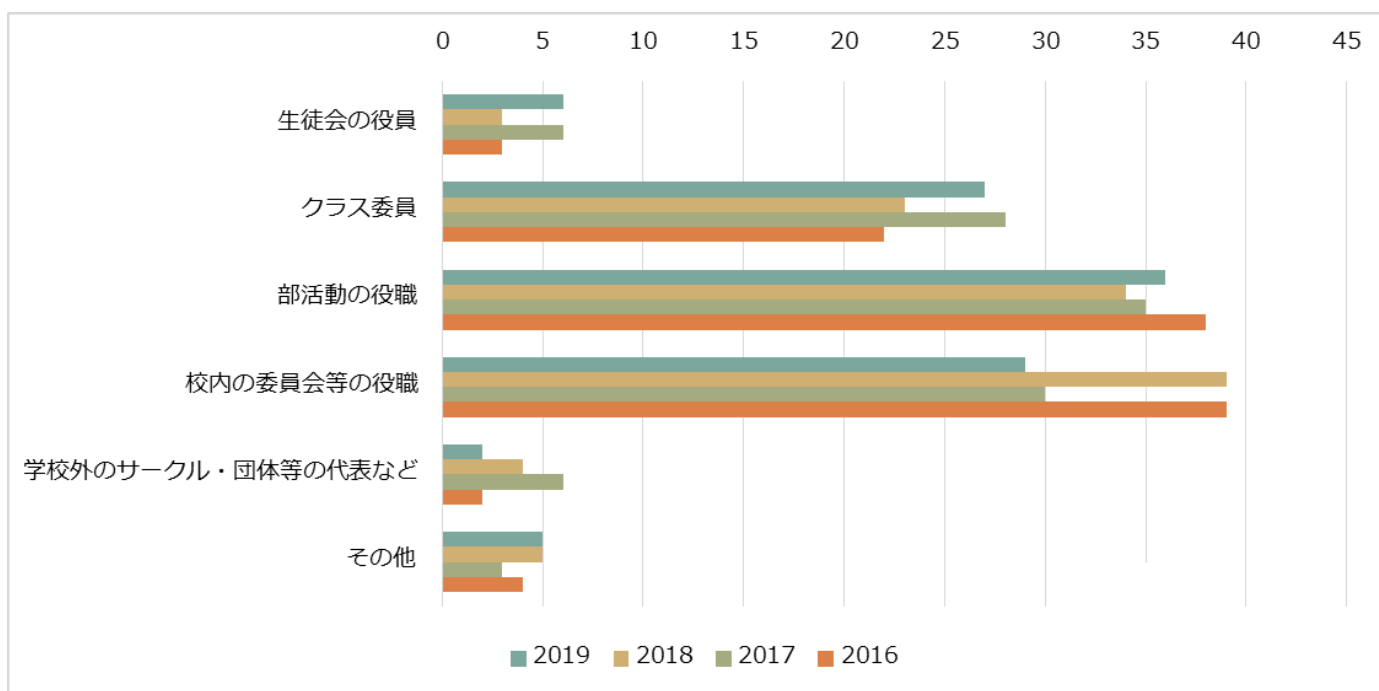


④滞在・留学・研修等で訪れた国名 ()内は人数
(2019年度新規項目)

- ◆ アメリカ合衆国 (7)
- ◆ オーストラリア (6)
- ◆ ニュージーランド (4)
- ◆ カナダ (4)
- ◆ シンガポール (2)
- ◆ フィリピン (2)
- ◆ 韓国
- ◆ ベトナム
- ◆ イギリス

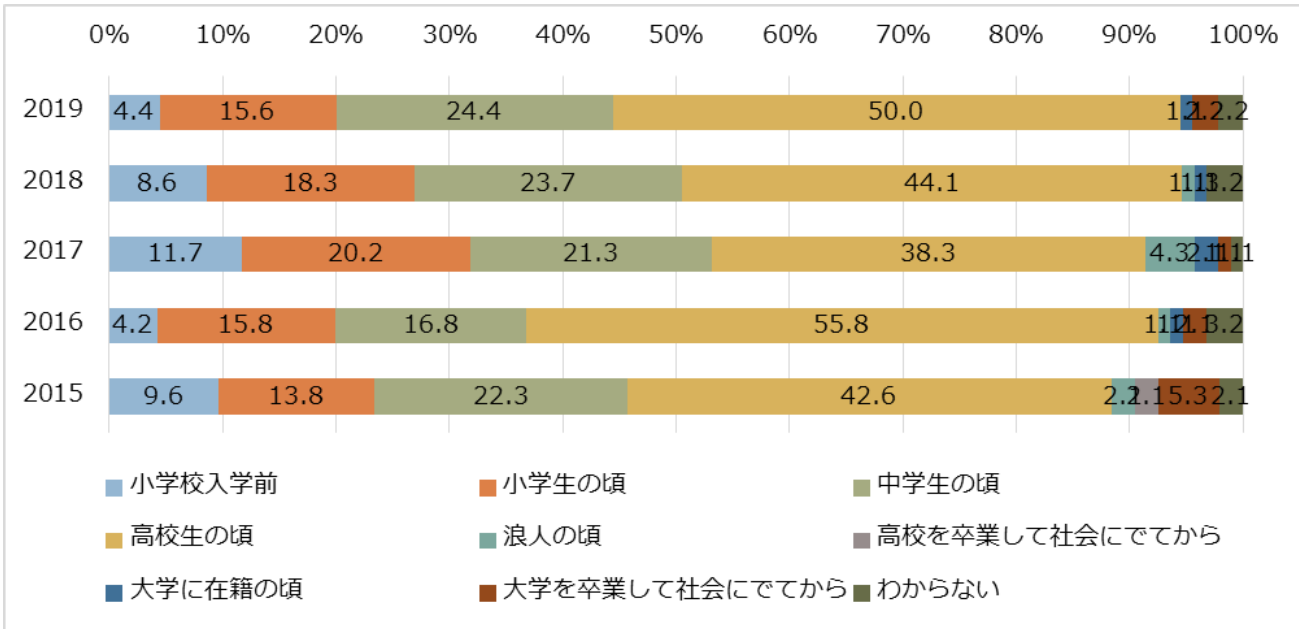
問 11 あなたは、高校時代、何らかの役職（長・副など）を経験したことがありますか。（複数可）

高校における役職経験を尋ねた項目である。
部活動の役職を経験した者が多く、生徒会役員は少ない。年度ごとの傾向に大きな違いは見られない。



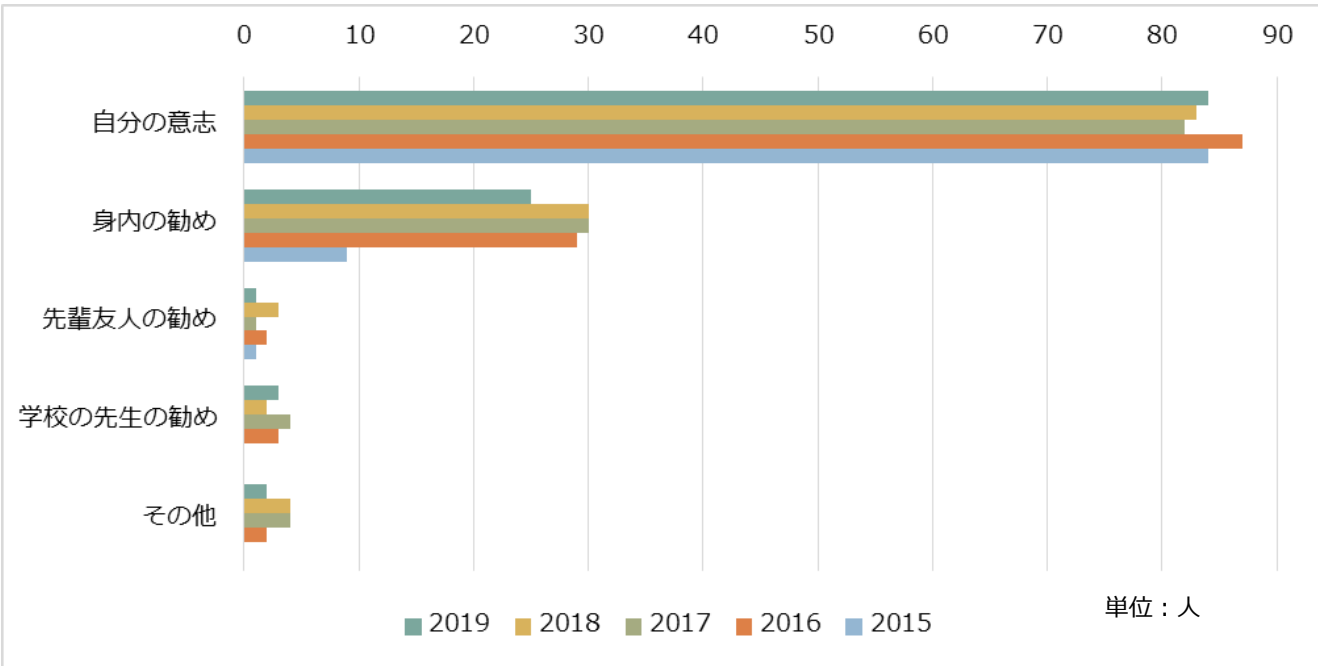
問 12 あなたはいつ頃、看護への道に進むことを決めましたか。

看護の道に進むことを決めた時期を問う項目である。2017年度より、「高校生の頃」以降に決めた者の割合が増加している。



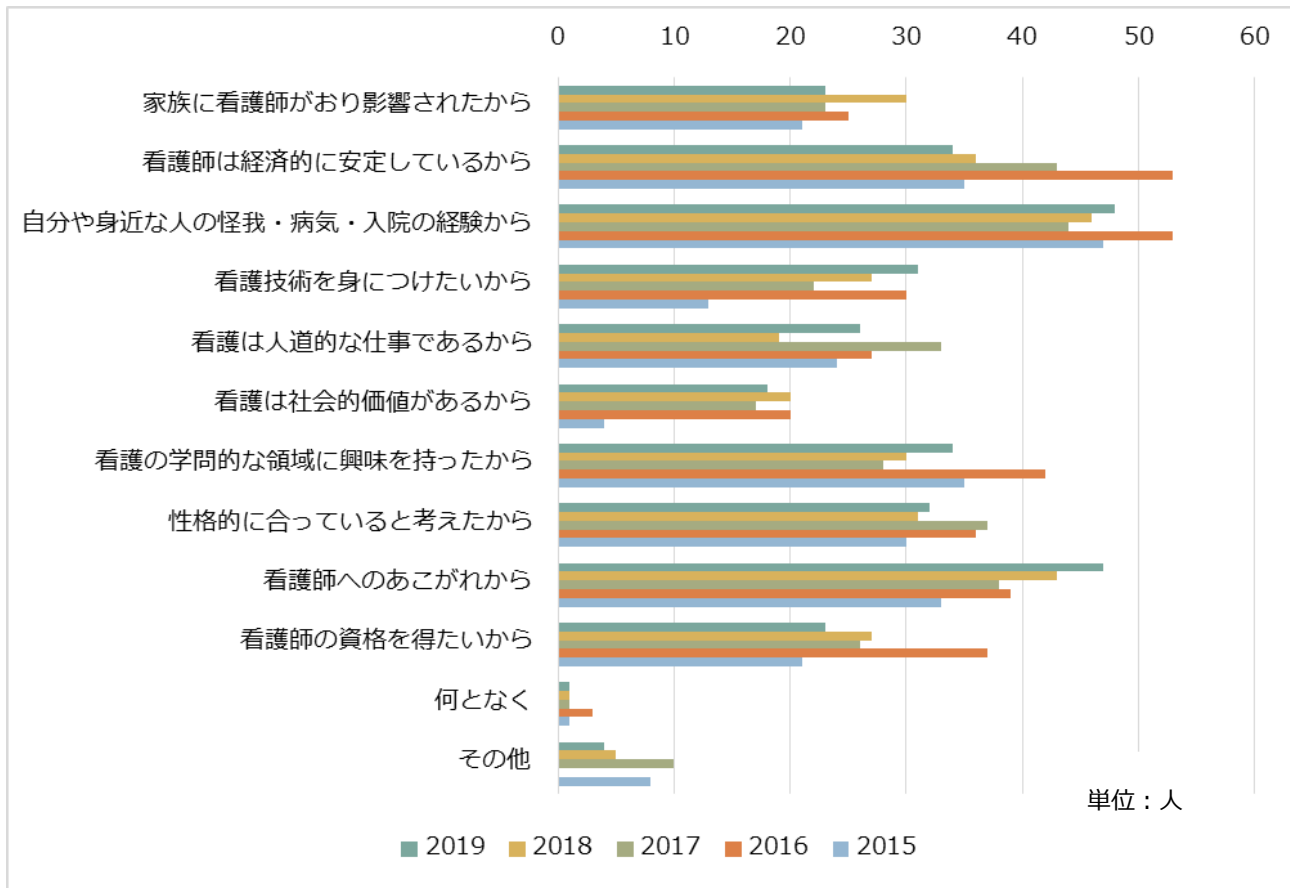
問 13 あなたが看護への道を選んだ経緯は。(複数可)

看護の道を選んだ経緯を尋ねる項目である「自分の意志」で選んだものが多く、例年と同様の受け以降である。



問 14 あなたが看護への道を選んだのはどのような理由からですか。(複数可)

看護の道を選んだ理由を問う項目である。年度ごとの人数では、「看護師は経済的に安定しているから」が減り、「看護師へのあこがれから」が増える傾向にある。



問 15 看護系の学部を選ぶ際、重視した項目を以下の選択肢から3つ選んで、その番号を順番に()
に記載してください。(2018年度～)

年度により質問形式や回答形式が異なるため、2018年度以降を示す。

看護系の学部を選ぶ際に重視した内容を問う項目である。2019年度は、1位では、「附属病院が充実しているか」、「大学キャンパスがどこにあるか」、2位では「大学キャンパスがどこにあるか」、「偏差値」、3位では「大学キャンパスがどこにあるか」、「入試科目」であった。

第1位に選択された項目

選択肢	2018年	2019年
附属病院が充実している	19	22
大学キャンパスがどこにあるか	17	19
入試科目	14	11
看護国家試験の合格率	12	2
偏差値	11	11
教育プログラムの内容	10	11
校風・伝統など	5	11
学費	2	3
入試日程	1	1
前年度の入試倍率	0	1
アドミッションポリシー	0	1
奨学金制度が充実している	0	1
その他	2	3

単位：人

第2位に選択された項目

選択肢	2018年	2019年
附属病院が充実している	21	14
大学キャンパスがどこにあるか	21	18
偏差値	18	17
入試科目	12	8
看護国家試験の合格率	10	15
教育プログラムの内容	6	5
学費	2	4
校風・伝統など	2	3
アドミッションポリシー	0	3
入試日程	0	1
奨学金制度が充実している	0	1
その他	1	1

単位：人

第3位に選択された項目

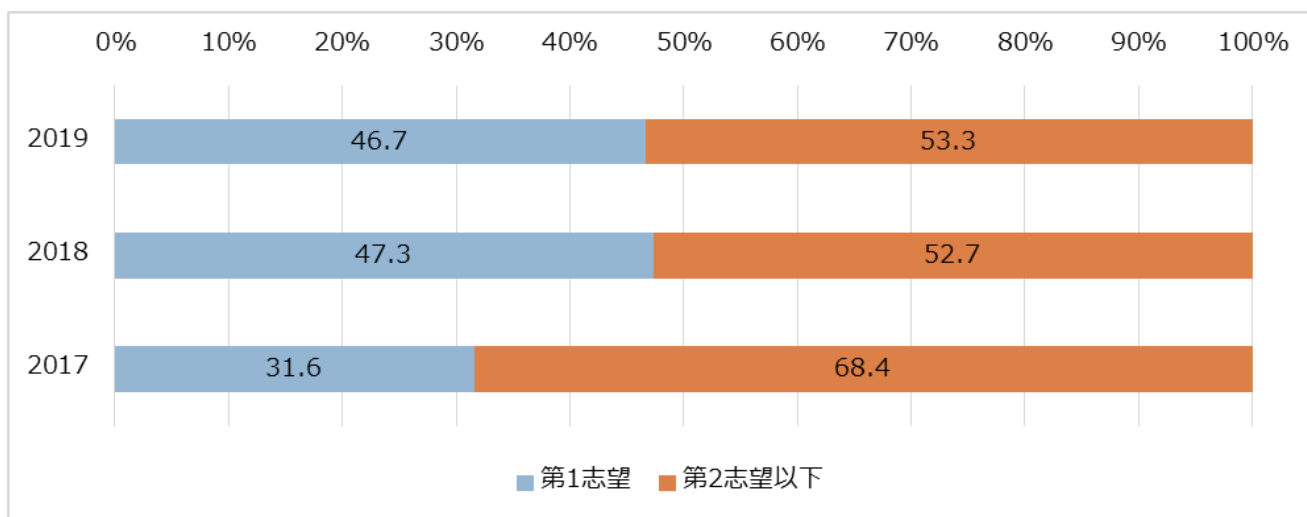
選択肢	2018年	2019年
大学キャンパスがどこにあるか	19	20
看護国家試験の合格率	15	6
付属病院が充実している	12	10
偏差値	12	6
学費	9	4
教育プログラムの内容	9	11
入試科目	5	16
校風・伝統など	5	4
アドミッションポリシー	3	1
入試日程	1	6
前年度の入試倍率	1	0
奨学金制度が充実している	1	2
特待生の制度がある	0	1
その他	1	3

単位：人

問 16 本学の志望順位を教えてください。

本学の志望順位を問う項目である。2019年度は、2018年度と同様、5割弱が第1志望である。

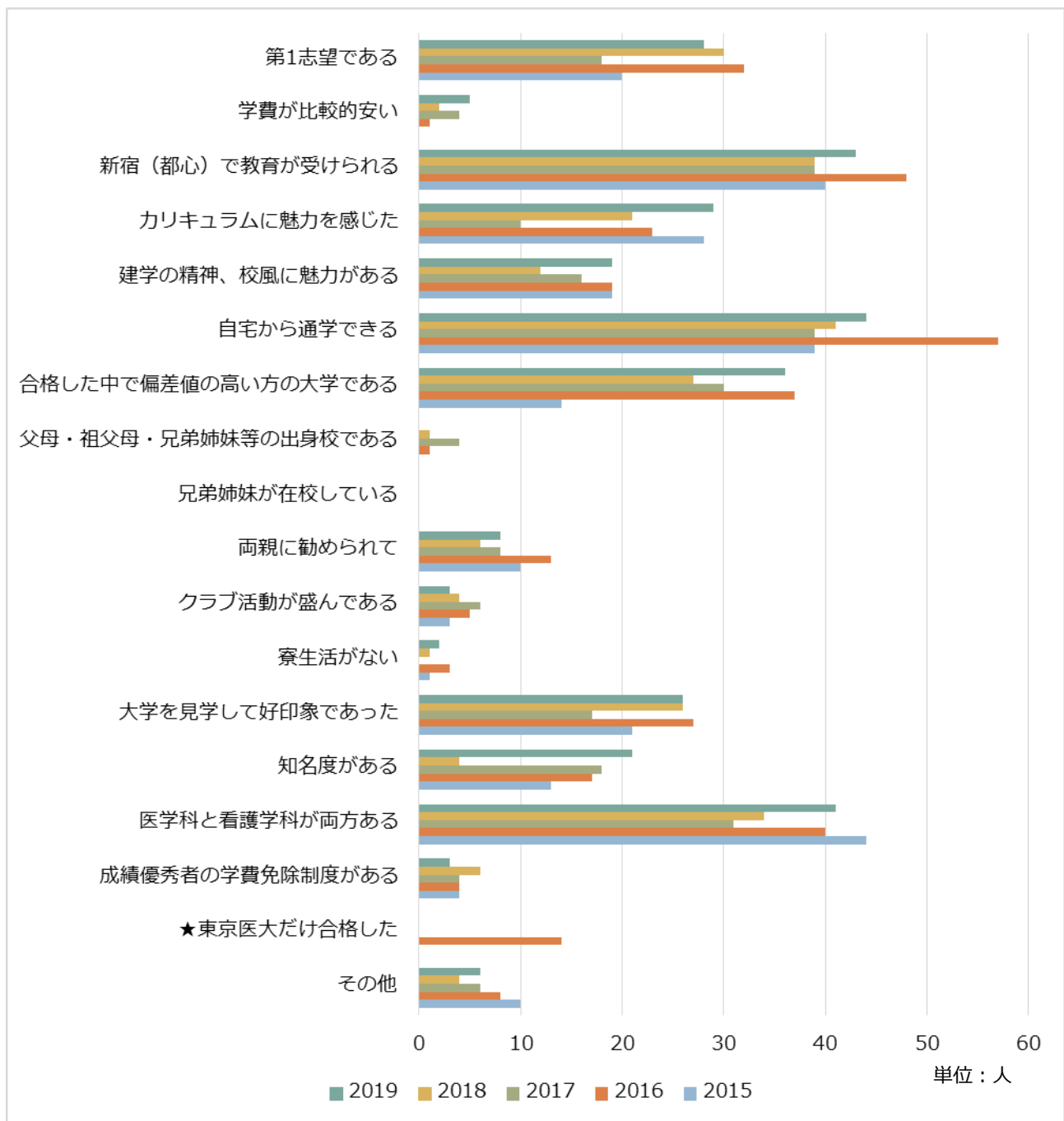
2017年度に追加した質問項目なので、3年分の比較を行う。



問 17 複数の看護系学部・学科合格者に伺います。東京医科大学を最終的に選んだのはどのような理由からですか。(複数可)

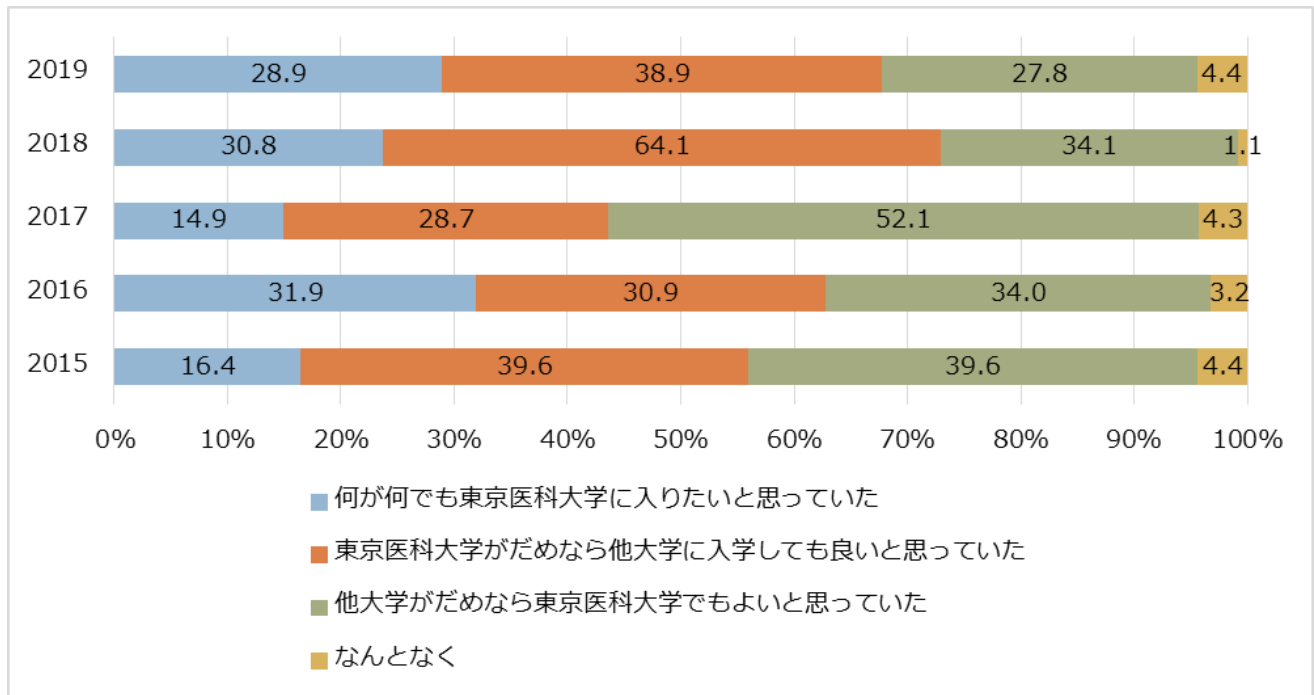
本学以外に合格校があった場合、本学を選んだ理由について問う項目である。人数が多いのは、「都心(新宿)で教育が受けられる」「自宅から通学できる」「医学科と看護学科が両方ある」ことである。

★は、2018年度までの項目



問 18 東京医科大学に入学することをどの程度希望していましたか。

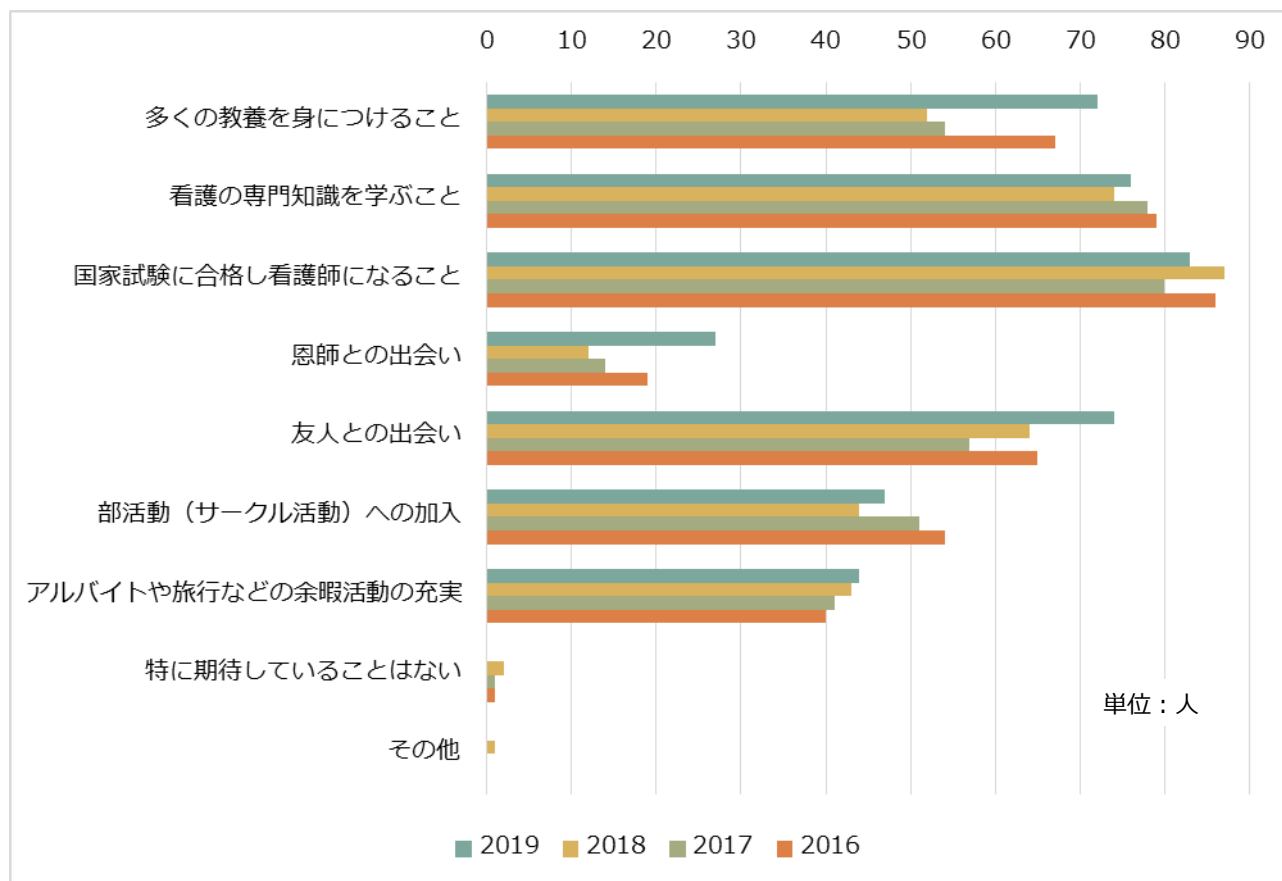
本学に入学することを希望していた程度を問う項目である。2017年度より、「何が何でも東京医科大学に入りたと思っていた」と回答した割合が増加傾向にある。



問 19 と 20 は、2016 年度の追加質問項目であるので、4 年間の比較を行う。

問 19 これからの大学生活や将来に、期待していることはありますか。(複数可)

今後の大学生活や将来に期待することを問う項目である。「多くの教養を身につけること」「恩師との出会い」「友人との出会い」が例年に比べて増加傾向にあった。



問 20 これからの大学生活や将来で、不安に思っていることはありますか。(複数可)

今後の大学生活や将来の不安を問う項目である。「教員との関係がうまく築けるかどうか」「仲の良い友達ができるかどうか」が例年に比べて増加傾向にあった。

